VIPO 会員社（五十音順）

2022年3月31日現在

RX Japan株式会社
株式会社秋田放送
アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン
伊藤忠商事株式会社
株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
株式会社イマジカデジタルスケープ
一般社団法人映画産業団体連合会
一般社団法人衛星放送協会
公益社団法人映像文化製作者連盟
エイベックス株式会社
株式会社ADKエモーションズ
株式会社エスピーオー
株式会社NHKエンタープライズ
NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
大蔵映画株式会社
一般社団法人外国映画輸入配給協会
株式会社KADOKAWA
株式会社カプコン
株式会社キネマ旬報社
株式会社キノフィルムズ
ギャガ株式会社
株式会社京映アーツ
キングレコード株式会社
株式会社クオラス
株式会社講談社
株式会社コーエーテクモゲームス
コダック合同会社
株式会社コナミデジタルエンタテインメント
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会
一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
埼玉県　彩の国ビジュアルプラザ
株式会社サンライズ
株式会社サンリオ
松竹株式会社
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
一般社団法人セガサミー文化芸術財団
全国興行生活衛生同業組合連合会
一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
ソニーPCL株式会社
株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
株式会社第一興商
高津装飾美術株式会社
有限会社ティーアイ・コムネット
株式会社TBSテレビ
株式会社ティーワイリミテッド
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
株式会社デジタルSKIPステーション
株式会社手塚プロダクション
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社電通
東映株式会社
東映アニメーション株式会社
東映ラボ・テック株式会社
東宝株式会社
学校法人東放学園　東放学園専門学校
東宝東和株式会社
株式会社東北新社
株式会社トーセ
株式会社ドリーミュージック
中日本興業株式会社
名古屋テレビ放送株式会社
日活株式会社
株式会社日経BP
日本アカデミー賞協会
日本アニメーション株式会社
協同組合日本映画製作者協会
一般社団法人日本映画製作者連盟
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
一般社団法人日本映像ソフト協会
一般社団法人日本音楽事業者協会
一般社団法人日本音楽制作者連盟
日本コロムビア株式会社
日本テレビ放送網株式会社
一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本民間放送連盟
一般社団法人日本レコード協会
株式会社博報堂
株式会社バップ
ぴあ株式会社
株式会社5
株式会社フジテレビジョン
特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション
ブロードメディア株式会社
ホクエツ印刷株式会社
株式会社ポケモン
株式会社ポニーキャニオン
株式会社ホリプロ
武蔵野興業株式会社
ユニバーサルミュージック合同会社
吉本興業ホールディングス株式会社
讀賣テレビ放送株式会社
一般社団法人ライセンシングインターナショナルジャパン
株式会社ラパン
琉球放送株式会社
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
株式会社WOWOW

【賛助会員】
鹿島建設株式会社
株式会社きんでん東京本社
スカパーJSAT株式会社
ソニー株式会社
高砂熱学工業株式会社
トヨタ自動車株式会社
日本電信電話株式会社
株式会社みずほ銀行

合計106社・団体（個人会員除く）

Annual Report 2021

年間活動報告書

2021.4.1-2022.3.31

Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

〒104-0045　東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F
TEL：03-3543-7531　FAX：03-3543-7533
URL：http://www.vipo.or.jp/

編集・発行　特定非営利活動法人映像産業振興機構
2022年6月24日発行

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C004514

VEGETABLE OIL INK

Waterless Printing Naturally

この製品は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。
また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。

コンテンツの未来へ、
つなげる、ひろげる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

VIPOの主な事業テーマ

人材育成

海外展開・市場開拓

マンガ
ゲーム
音楽
キャラクター
出版
アニメ
放送
映画

ヴィーポ
VIPOは日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立されたNPO法人です。
〈人材育成〉〈海外展開・市場開拓〉の支援を中心に、様々な活動を通して、業界全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。

ご挨拶

2021年度の年間活動報告をさせていただくにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、コンテンツ業界、特にライブ事業に関わる方々にとってはまだまだ厳しい状況が続く一方で、世界におけるグローバルなイベント等は、適正なコロナ対策を行った上でのリアル開催へと歩みを進めております。

VIPOは一昨年より、コロナ禍の影響を受けたイベント活動や文化芸術活動の支援を目的とした経済産業省および文化庁の補助金事業の事務局業務に取り組んでおります。また昨年度は、自主事業として「VIPO Film Lab」を立ち上げ、若手国際プロデューサー育成や海外での脚本ラボ等に取り組みました。今後もプログラムの拡大・多様化を目指します。

今年度も様々な環境変化を見据えた上で、引き続き皆様のお力になれるよう、体制を強化して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 松谷孝征

専務理事・事務局長 市井三衛

INDEX

P03-04 ・設立の経緯/組織図
・VIPO事業マッピング
P05-06 ・ndjc:若手映画作家育成プロジェクト
P07-08 ・日本映画海外展開強化事業
P09 ・映画スタッフ育成事業
P10 ・VIPO Film Lab
・AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業
P11 ・オリジナル企画映画化のためのマッチングサービス「IKURA」
・コンテンツ海外展開促進事業(映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査)
P12 ・Festival Scope活用事業
・京都映画企画市
P13-14 ・メディア芸術海外展開事業
P15-17 ・VIPOアカデミー
P18 ・VIPOインタビュー
P19-20 ・コンテンツ業界向けセミナー&ワークショップ
P21-22 ・コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金
P23 ・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金
・コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金
P24 ・コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(三次補正)
P25 ・ARTS for the future!
P26 ・ARTS for the future! 2
・統括団体によるアートキャラバン事業
P27-30 ・コンテンツ海外展開促進事業
P31 ・Japan Content Catalog(JACC®)
P32 ・国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」
P33-34 ・海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」
P34 ・VIPO Integrated Support System(VISS)
・JAPACON
P35 ・全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究
P36 ・大型映像作品ロケーション誘致の効果検証調査
P37 ・アーカイブ中核拠点形成モデル事業
P38 ・京まふ2021
・東京都コンテンツ活用事業

……人材育成　……海外展開・市場開拓
……広報活動　……調査・情報サービス
……アーカイブ

設立の経緯

01 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。

02 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。

03 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。

04 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。

05 その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年5月、認証。

組織図

総会
＜最高議決機関＞
◎正会員(法人会員、個人会員で構成)
◎議決権は法人会員5、個人会員1
◎通常総会：年1回開催
◎臨時総会：正会員の1/4以上の要求があるとき、他に開催

理事会
＜執行機関＞
◎正会員代表者、個人会員等から10～50人

指揮・監督

事務局

理事長

幹事理事会
◎機構の運営を円滑に行うために法人会員理事より各業界代表3～10名以内で開催
◎必要に応じて臨時開催

総会・理事会・幹事理事会 開催実績
※すべてオンラインを併用

総会
・令和3年6月29日

臨時総会
・令和3年8月12日

幹事理事会
・令和3年4月2日
・令和3年6月10日
・令和3年12月3日

理事会
・令和3年6月10日
・令和3年7月29日
・令和3年8月12日
・令和3年12月3日

VIPO事業マッピング

人材育成

P15 VIPOアカデミー
- コーポレートリーダーコース
- プロジェクトリーダーコース
- グローバルビジネスコース
- リーガル・エッセンシャルコース
- ファイナンス・エッセンシャルコース
- 業界研究ベーシックコース
- インハウス研修(企業内集合研修)

P10 国際プロデューサー育成(VIPO Film Lab)

P05 若手映画作家育成(ndjc)

P09 映画スタッフ育成(インターンシップ)

P10 AFI Conservatory 日本人留学生推薦

P12 時代劇映画 企画・パイロット版制作支援(京都映画企画市)

P11 OJTによる映像制作現場人材育成実証調査

P07 日本映画海外展開強化若手監督実践研修

P38 マンガ家・イラストレーター発掘/育成

P19 セミナー・WS
- 中国ビジネス
- 著作権・法律
- エンタメマーケター養成
- 英語ピッチトレーニング
- コンテンツ業界研究
- 脚本読み込み
- プロデューサー養成
- アクターズワークショップ
- 中国エンタメ(俳優編)
- テレビドラマ制作
- 長編3D映画共同製作
- 音楽シンクビジネス法律編

海外展開・市場開拓

P21 J-LOD補助金
- ローカライズ&プロモーション
- withコロナ時代におけるエンタメビジネス支援
- 先進技術を活用した公演
- 生産性向上/DXに資するシステム開発
- ストーリー性のある映像の制作・発信
- 企画開発費補助

P27 ビジネスマッチング
- 各種イベントを連携し海外へ効果的に発信する「コ・フェスタ」
- アジア・コンテンツ・ビジネス・サミット(バンコクASEAN映画祭/香港フィルマート)
- 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム
- ベトナムとの国際共同製作作品セミナー
- 脚本家ビジネスマッチング(中国)
- 北米TV業界ビジネスマッチング(A-JAPAN)
- プチョン国際ファンタスティック映画祭併設マーケットピッチング/スクール参加支援
- 釜山国際映画祭マーケットACFM出展
- 「ロッテルダムラボ」プロデューサー参加支援
- ベルリン国際映画祭マーケット参加支援
- Japanese Movie & Animation Pitching(JMAP)
- アヌシー国際アニメーション映画祭「MIFA」ジャパンパビリオン出展
- 「Asian Animation Summit」企画ピッチ
- キッズ産業見本市「Kidscreen Summit」
- ゲーム化IPビジネスマッチング(中国)
- ChinaJoyオンラインマーケット
- 映像化IPビジネスマッチング(韓国)
- 釜山国際映画祭「E-IP Market」出展
- ベルリン「Books at Berlinale」参加支援
- 音楽海外シンクビジネスセミナー

P38 【IP・キャラクター】東京都コンテンツ活用促進セミナー&マッチング

P23 J-LODlive/J-LODlive2補助金

P25 ARTS for the future! / ARTS for the future! 2

P26 アートキャラバン

P07 日本映画海外展開強化

P12 フェスティバルスコープ海外映画祭向け発信

P11 映画監督と映画プロデューサーをつなぐマッチングサービス(IKURA)

P13 メディア芸術海外展開
- アヌシー国際アニメーション映画祭(仏)
- マンガバルセロナ(西)
- 【メディア・アート】アルス エレクトロニカ(奥)

調査・情報サービス

P31 Japan Content Catalog(JACC®)

P32 国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」

P34 VIPO Integrated Support System(VISS)

P34 「JAPACON」SNSによる海外への発信

P36 大型映像作品ロケ誘致効果検証調査

P35 全国ロケーションデータベースの利用促進/調査研究

P33 海外出版業界向けサイト「Japan Book Bank」

アーカイブ

P37 映画資料アーカイブ支援

	人材育成	海外展開・市場開拓	調査・情報サービス	アーカイブ
多ジャンル	P15 VIPOアカデミー / P19 セミナー・WS	P21 J-LOD補助金 / P27 ビジネスマッチング / P23 J-LODlive/J-LODlive2補助金 / P25 ARTS for the future! / ARTS for the future! 2 / P26 アートキャラバン	P31 Japan Content Catalog (JACC®) / P32 国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」 / P34 VIPO Integrated Support System (VISS) / P34 「JAPACON」SNSによる海外への発信	
映像(映画・放送・アニメ)	P10 国際プロデューサー育成(VIPO Film Lab) / P05 若手映画作家育成(ndjc) / P09 映画スタッフ育成(インターンシップ) / P10 AFI Conservatory 日本人留学生推薦 / P12 時代劇映画 企画・パイロット版制作支援(京都映画企画市) / P11 OJTによる映像制作現場人材育成実証調査 / P07 日本映画海外展開強化若手監督実践研修	P07 日本映画海外展開強化 / P12 フェスティバルスコープ海外映画祭向け発信 / P11 映画監督と映画プロデューサーをつなぐマッチングサービス(IKURA) / P13 メディア芸術海外展開	P36 大型映像作品ロケ誘致効果検証調査 / P35 全国ロケーションデータベースの利用促進/調査研究	P37 映画資料アーカイブ支援
ゲーム				
マンガ	P38 マンガ家・イラストレーター発掘/育成		P33 海外出版業界向けサイト「Japan Book Bank」	
出版				
音楽				
その他		P38 【IP・キャラクター】東京都コンテンツ活用促進セミナー&マッチング		

ndjc:若手映画作家育成プロジェクト

文化庁　委託事業

次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として
文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

本事業発足から16年を経て、247名がプロジェクトに参加
その中から77名が製作実地研修に進み、短編映画を製作
ここから長編映画監督が続々と誕生！

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc：若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像製作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで、次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。若手映画作家にとっては、プロのスタッフの指導の下、オリジナル脚本の短編映画作品を製作するチャンスとなり、完成した作品は映画業界関係者向けの合評上映会だけでなく、劇場公開もされるため、広く作品を披露する機会となっています。

PICK UP

【2021年】主なプロジェクト出身監督の活躍

堀江貴大監督（ndjc2015）

『先生、私の隣に座っていただけませんか?』2021年9月10日(金)公開
配給・宣伝：ハピネットファントム・スタジオ　監督・脚本：堀江貴大
出演：黒木 華、柄本 佑、金子大地、奈緒、風吹ジュン

金井純一監督（ndjc2009）

『マイ・ダディ』2021年9月23日(木・祝)公開
配給：イオンエンターテイメント　監督：金井純一
脚本：及川真実、金井純一　出演：ムロツヨシ、中田乃愛

中江和仁監督（ndjc2011）

劇場版『きのう何食べた?』2021年11月3日(水・祝)公開
配給：東宝　監督：中江和仁　脚本：安達奈緒子　出演：西島秀俊、内野聖陽、山本耕史、磯村勇斗、マキタスポーツ、松村北斗(SixTONES)、田中美佐子(友情出演)、田山涼成、梶 芽衣子

和島香太郎監督（ndjc2008）

『梅切らぬバカ』2021年11月12日(金)公開　*ndjc2020「長編映画の実地研修」完成作品
配給・宣伝：ハピネットファントム・スタジオ　監督・脚本：和島香太郎
出演：加賀まりこ、塚地武雅、渡辺いっけい、森口瑤子、斎藤汰鷹、林家正蔵、高島礼子

【2022年】主なプロジェクト出身監督の活躍

藤澤浩和監督（ndjc2011）

『ツーアウトフルベース』2022年3月25日(金)公開
配給：東映ビデオ　監督・脚本：藤澤浩和　脚本：内田英治
出演：阿部顕嵐、板垣瑞生

吉野耕平監督（ndjc2014）

『ハケンアニメ!』2022年5月20日(金)公開
配給：東映　監督：吉野耕平　脚本：政池洋佑
出演：吉岡里帆、中村倫也、柄本 佑、尾野真千子

三宅伸行監督（ndjc2010）

『世の中にたえて桜のなかりせば』
2022年4月1日(金)公開
配給：東映ビデオ　監督：三宅伸行　脚本：敦賀 零、三宅伸行
出演：岩本蓮加(乃木坂46)、土居志央梨、郭 智博、名村 辰
柊 瑠美、伊東由美子
徳井 優、吉行和子
宝田 明

ndjc2021 実施概要

今年度は、25団体から49名の応募があり、一次選考を経て15作家がワークショップに参加しました。その中から選出された4作家が最終課題である製作実地研修に進み、脚本開発を経て短編映画を製作。完成作品は全国で開催する映画業界関係者向けの合評上映会の他、一般観客向けに東京・大阪・名古屋にて劇場公開しました。多方面からいただく講評は作家の今後の活動に役立たせるべく、すべてをフィードバックします。これまでに完成したndjc作品と併せて、今後も引き続き発表の機会を提供していきます。

4月〜5月〜6月　作家の公募
・映画関係団体等から推薦された作家の中から、ワークショップ参加作家を決定

7月　ワークショップ
・編集講義や、共通のテーマに沿った完成尺5分以内の作品を制作

ワークショップ

8月〜9月〜10月〜11月〜12月　製作実地研修
・25分以上30分以内の短編映画製作（脚本開発〜撮影〜仕上げ〜完成）

製作実地研修

1月〜2月〜3月　合評上映会・講評会・劇場公開
・主要都市での映画業界関係者、一般モニターを対象とした合評上映会
・検討委員による講評会
・東京、大阪、名古屋にて劇場公開
・脚本指導講師による講評会

合評上映会（東京会場）

講評会

ndjc2021 製作実地研修参加作家と完成作品

『少年と戦車』

監督
竹中貞人

[作家推薦団体]
東京芸術大学 大学院 映像研究科
[制作プロダクション]
東映東京撮影所
[出演]
鈴木 福、黒崎レイナ、笠井悠聖、林 裕太、松浦祐也

『遠くへいきたいわ』

監督
団塚唯我

[作家推薦団体]
なら国際映画祭
[制作プロダクション]
シグロ
[出演]
野内まる、河井青葉、フジエタクマ、津田寛治、金澤卓哉

『LONG-TERM COFFEE BREAK』

監督
藤田直哉

[作家推薦団体]
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
[制作プロダクション]
ジャンゴフィルム
[出演]
藤井美菜、佐野弘樹、福田麻由子、遊屋慎太郎、小槙まこ

『なっちゃんの家族』

監督
道本咲希

[作家推薦団体]
PFF
[制作プロダクション]
アミューズ
[出演]
上坂美来、白川和子、斉藤陽一郎、須藤理彩、山﨑 光

4作品共通：2022年／カラー／ビスタサイズ／5.1ch／30分／©2022 VIPO

日本映画海外展開強化事業

文化庁　委託事業

本事業は、欧米の映画先進国において日本映画の上映を実施する他、国際的で多様なワークショップ等による人材交流機会の提供によって、新たな創造活動の機会創出および促進、映画人材の増強、ひいては日本映画の魅力向上、多様性の強化を実現することを目指し実施いたしました。
本年度も新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインを活用しながら一部対面開催とし、(ア)米国における日本映画の特集上映の実施、(イ)日本の映画関係者の短期実践研修、(ウ)海外映画祭における日本映画の海外展開強化策の実施、(エ)ニューヨークでの日本映画の一般公開の事業を実施しました。

(ア)米国における日本映画の特集上映の実施

海外における日本映画の上映機会創出と海外展開の強化を目的とし、米国での日本映画特集上映会を企画・実施しました。テーマを設けた特集上映を開催することで、新たな視点と深度から日本映画を鑑賞する機会とし、海外の幅広い観客への日本映画の定着を図りました。

特集上映・トークイベント開催概要

- 開催期間：2021年12月3日(金)～23日(木)
- 上映方式：オンライン配信上映、一部対面上映
- 実施内容：
  テーマを“デビュー作の風景”(FLASH FORWARD：DEBUT WORKS AND RECENT FILMS BY NOTABLE JAPANESE DIRECTORS)とし、6名の日本で著名な監督のデビュー作とその後の注目作を組み合わせて上映し、各監督のキャリアにおける2つの異なる側面を紹介しました。
  そのほか、“若手監督特集”(Filmmakers on the Rise)では、今後の活躍が期待される若手監督の作品計6本(研修参加者の監督作品3本を含む)を上映。対面上映としてNYにあるジャパン・ソサエティーのオーディトリアムにて山中貞雄監督の2作品を上映しました。上映の他に、“FLASH FORWARD”で紹介した6名の監督のインタビュー映像、パネル・ディスカッションとして日本映画に詳しい有識者4名によるそれぞれの監督がデビューした当時の文化的背景や映画業界について議論していただきました。
- 特集上映内容(作品数：計20本)
  [FLASH FORWARD：DEBUT WORKS AND RECENT FILMS BY NOTABLE JAPANESE DIRECTORS](12本)
  [Filmmakers on the Rise](6本)
  [FOCUS ON SADAO YAMANAKA](2本)
- トークイベント内容(計3本)
  [Flash Forward：Conversations with the Filmmakers Part Ⅰ /Part Ⅱ]
  [Panel Discussion：Debut Works and Beyond]
- 主催：文化庁、ジャパン・ソサエティー／協力：VIPO

(イ)日本の映画関係者の短期実践研修

日本の映画人材の底上げ、海外進出の促進、海外とのネットワーク構築を目的に、海外での活躍を志す日本人映画作家を対象として、ニューヨークの映画関係者を講師に迎えた企画書・脚本フィードバック指導、テーマ別講義等の研修をオンライン中心に実施しました。

- 主催：文化庁／運営：VIPO

研修全体スケジュール

- 研修者募集期間：2021年6月7日(月)～7月25日(日)
- 1次書類・2次面接審査：2021年7月26日(月)～8月31日(火)
- 研修者発表：2021年9月10日(金)
- 研修実施期間：2021年11月9日(火)～2022年2月5日(土)

研修関係者

- 講師：Trey Ellis氏[脚本家、コロンビア大学スクールオブアーツ教授]
  Jack Lechner氏[映画プロデューサー、コロンビア大学スクールオブアーツ准教授]
  Kimberly Parker氏[映画プロデューサー]
  Shrihari Sathe氏[映画プロデューサー]
  Ryan Kampe氏[セールス会社Visit Films代表]
  HIKARI氏[映画監督]
- 研修アドバイザー：福永壮志氏[映画監督]
- 研修参加者：金子雅和氏、佐々木 想氏、三宅響子氏

金子雅和氏

佐々木 想氏

三宅響子氏

(ウ)海外映画祭における日本映画の海外展開強化策の実施

海外における日本映画の上映機会の拡大を目的に、日本の映画会社と海外のシネマテーク等の海外上映団体との出会いと交流を創出する「Japanese Film Matchmaking」のウェブサイトのアップデートおよび映画会社や海外のシネマテーク等へのヒアリング調査等を実施しました。

- 主催：文化庁／運営：VIPO、有限会社ビィ・ウィズ
(1)ウェブカタログ作成・公開
期間：2021年7月1日(木)～2022年3月31日(木)
結果：参加セールス会社8社／カンヌ国際映画祭セレクション作品3作品
(2)ヒアリング調査
期間：2022年1月7日(金)～2月28日(月)
結果：日本映画セールス会社6社／海外上映者36件

(エ)ニューヨークでの日本映画の一般公開

世界各国の映画が幅広く上映され、ハリウッドに比べ多様性に富んでいるニューヨークにおいて、アートハウス系映画館で日本映画の上映を行い、現地の映画ファンに良質な日本映画をスクリーン上で観る機会を提供しました。

- 開催期間：2022年3月11日(金)～17日(木)
- 上映作品：『由宇子の天秤』、『BLUE/ブルー』(計2本)
- 主催：文化庁／協力：IFC Center／運営：VIPO

映画スタッフ育成事業

文化庁　委託事業

映画スタッフを目指す学生に、実際の映画製作現場での実習を通して、現場での初歩的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生／学校／制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの製作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の製作現場で活躍できるスタッフを持続的に育成することを目指しています。

2018年度から4年間、当機構が事務局を運営しています。映画学科や映像系学科等がある大学／専門学校等を中心に一般大学、美術大学、服飾美容系専門学校も含めて募集を行ない、2021年度は49人の学生が実写劇映画21作品の撮影現場にてインターン実習を経験しました。実習後に実施したアンケートでは制作会社／学生の両者から満足度と有益度が高い評価を得ました。[学生：有益度95%、制作会社：次の現場でも学生を受け入れたい90%]

実習職種

演出／撮影／照明／録音／制作／プロデューサー／美術／装飾／衣裳／ヘアメイク

実習生の声

- 実際の撮影現場に参加した事で、より具体的に全体の流れや、働き方を知ることができた。
- ネットで調べてもいまひとつ分からなかった具体的な仕事内容についてたくさんお話を伺えたことが一番の収穫。
- 現場でお世話になった方にとても尊敬を覚え、こんなプロデューサーになりたいと考えた。
- 業界内の方々と知り合えた事で、今後にも繋げる事ができた。

学校関係者の声

- 担当部署以外の見聞も広がり、映画制作がやりがいのある仕事だということを確信してくれた。
- スタッフやキャストの方の仕事に対する情熱に感銘を受け、人間的にも成長できた。
- 卒業後の進路について相談に乗っていただけた。
- 現場の技師さんに次の現場もお誘いいただき、つながりを作ることができた。

製作現場の声

- 現場で学べる事があるので、学校は現場にどんどん生徒を送り込んでほしい。
- 実習を通して、自分で考え、先回りして能動的に動くという成長がみられた。
- 目に見えている撮影現場以外の部分を知れたのは大きな成果なのではと思う。
- (地方から参加した学生について)やる気がある若い才能は地方にもいることを強く実感。

2018年～2021年度 実習71作品

メジャースタジオ作品からインディペンデント系まで、日本アカデミー賞受賞作から海外映画祭出品作を含む多様な現場で実習。

2022年4月以降 公開予定作品

『とんび』瀬々敬久監督／『ツユクサ』平山秀幸監督／『死刑にいたる病』白石和彌監督／『シン・ウルトラマン』樋口真嗣監督／『ハケンアニメ!』吉野耕平監督／『恋は光』小林啓一監督／『バスカヴィル家の犬 シャーロック劇場版』西谷 弘監督／『GHOSTBOOK おばけずかん』山崎 貴監督／『ハウ』犬童一心監督／『異動辞令は音楽隊!』内田英治監督／『さかなのこ』沖田修一監督／『マイ・ブロークン・マリコ』タナダユキ監督／『LOVE LIFE』深田晃司監督／『ラーゲリより愛を込めて』瀬々敬久監督／『カラダ探し』羽住英一郎監督　等

公開済作品

【大型エンタメ作品】

『男はつらいよ50 おかえり 寅さん』山田洋次監督／『ザ・ファブル 殺さない殺し屋』江口カン監督／『天外者』田中光敏監督／『ブレイブ - 群青戦記 - 』本広克行監督／『マスカレード・ナイト』鈴木雅之監督　等

【アート系作品】

『君は永遠にそいつらより若い』吉野竜平監督／『殺さない彼と死なない彼女』小林啓一監督／『よこがお』深田晃司監督　等

【国内外映画祭出品・受賞作品】

『茜色に焼かれる』石井裕也監督／『ある船頭の話』オダギリジョー監督／『記憶にございません!』三谷幸喜監督／『そして、バトンは渡された』前田 哲監督／『楽園』瀬々敬久監督　等

学生向けオンラインセミナー全4回

撮影現場での実習と学校での授業を補完し、学生がより広く深く理解するために、映画業界の第一線で活躍するプロフェッショナルを講師に迎えて「映画撮影現場のお仕事いろいろ」セミナーとして2021年度は全4回で開催しました。実習生以外の学生も出席可能、また地方の学生も参加しやすいように無料&オンラインでの実施、リピーター受講者もあり、高評価を得ました。

映画撮影現場のお仕事いろいろ

Vol.1 制作・撮影・照明・録音編　2021年8月26日　参加139人
モデレーター+制作：岩田 均プロデューサー　撮影：今村圭佑
照明：土山正人　録音：藤林 繁

Vol.2 演出・美術・装飾編　2021年11月12日　参加57人
演出：松下洋平(助監督)　美術：花谷秀文　装飾：小山大次郎

Vol.3 ヘアメイク・衣裳・持ち道具(装飾)編　2022年1月24日　参加109人
講師陣は東宝スタジオより中継　ヘアメイク：宮内三千代
衣裳：水島愛子　持ち道具：龍田哲児(装飾)

Vol.4 仕上げ編 スクリプター・ラボワーク・編集　2022年3月16日　参加40人
スクリプター：山内 薫　ラボワーク：有田勝美　編集：只野信也

VIPO Film Lab

新規事業　自主事業

Training Program designed for Japan-based Filmmakers

「VIPO Film Lab」国際プロデューサーコース(全10回)

本事業では、映画の国際共同製作を推進し、国際的な感覚や知識を持ち広く世界で活躍する若手プロデューサーを育成することを目的として、2021年6月17日(木)～11月10日(水)にかけて「VIPO Film Lab」国際プロデューサーコース(全10回)を開催いたしました。(※第9回講義の開催日は10月21日から11月10日に変更)

国際的に活躍できる若手プロデューサー育成のため、6ヶ月にわたり、世界の映画祭やマーケットの機能、セールスエージェントや企画マーケットの役割、そして、実際の企画マーケット担当者からの実践的なレクチャーや脚本ディベロップメントなど、映画の国際共同製作・海外展開を目指していく上で必要となる知識を包括的に学べる講義を実施。国内外の経験豊富な業界エキスパートや現役で活躍するプレイヤーを講師陣に迎え、即実践で活用できる基本的な知識やテクニックを身につけることを目指しました。

「VIPO Film Lab」脚本コース*

2021年6月～11月に開催した国際プロデューサーコースに引き続き、脚本をブラッシュアップするための脚本コース(無料)を2022年4月26日(火)～29日(金)の日程で実施。

本コースは、ヨーロッパの団体EAVE (European Audiovisual Entrepreneurs)とVIPOの共催事業で、参加者はイタリア・ウディネにて開催する脚本個別指導講義を受講。「Focus　Asia」(映画祭インダストリー部門)や「ウディネ・ファーイースト映画祭」、EAVE主催のラボTies That Bind(TTB)のASIA / EUROPE CO-PRODUCTION WORKSHOPの一部講義にも参加いたしました。

*本事業は「コンテンツ海外展開促進事業」(経済産業省委託事業)の一部として実施

参加者　●後藤美波氏　●朱 永菁氏　●柳本千晶氏

AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

自主事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2021年度は2022年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集いたしました。

AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタル・メディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督／監督／編集／プロデューサー／美術／脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。

オリジナル企画映画化のためのマッチングサービス「IKURA」

新規事業　　自主事業

IKURA（イクラ）は、《監督が生み出す新たな映画企画》と《映画化したいプロデューサー》をつなぎ、映画製作実現を目指すマッチングサービスです。本サービスのプラットフォームとなるウェブサイトでは主に以下を掲載しています。

- 監督発案のオリジナル映画企画
- 登録監督のプロフィール／フィルモグラフィー／受賞経歴／過去制作映像など
- その他対談等の記事コンテンツ

「IKURA（イクラ）」の由来：
映画監督と映画プロデューサーをつなぐアイデア（IDEA）の蔵（KURA）
「IKURA」

IKURA公式サイト：https://www.ikura-vipo.jp/
IKURA公式Twitter：@ikura_vipo

基本的な利用の流れ

1. プロデューサーが映画企画をウェブサイトで閲覧
2. 気になる企画をIKURAに問い合わせ
3. 追加資料の授受および初回3者ミーティングの設定
4. 監督とプロデューサーの双方合意をIKURAが確認し、マッチング成立
5. 企画実現に向け、監督とプロデューサーで進行

ご利用の流れ

プロデューサー 映画企画を閲覧 → 気になる企画をIKURAに問い合わせ → 追加資料の授受や初回3者ミーティング（監督、プロデューサー、IKURA）などIKURAが調整 → マッチング成立 監督とプロデューサーの双方合意をIKURAが確認 → 企画実現に向け 監督とプロデューサーで進行

コンテンツ海外展開促進事業（映像制作現場における効果的な人材育成の実証に関する調査）

新規事業　　経済産業省　委託事業

本調査では、映画・映像撮影現場において、若手スタッフが実践的な知識と技術を習得することができるOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）プログラム=「プラクティカルトレーニング」を実施することにより、効果的な映像制作スタッフの育成方法を調査しました。
対象作品は、日本国内で撮影する劇場用映画、地上波または衛星放送テレビドラマ、アニメーション作品、ネット配信映像作品等の商業作品（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く）。トレーニー対象者は、映像制作の従事歴が3年以内若しくは従事した商業作品が3作品以下の者（自主制作・短編・ミュージックビデオ・CM類は除く）としました。そして、劇場公開実写2作品、地上波&BS連続ドラマ1本にて計10人のトレーニーに本プログラムを実施し、日本の映画・映像制作現場における若手スタッフの持続的な育成が必要不可欠かつ急務であることを確認しました。

Festival Scope活用事業

新規事業　　自主事業

2021年度第1弾においては、VIPO事業に関連した日本映画作品や制作者の作品の中から、特定のセールスエージェント等によるPR活動が難しい作品をピックアップ。「カンヌ国際映画祭」併設マーケット「Marche du Film」の開催（2021年7月6日～15日）に先駆けてページを開設し、22作品を紹介しました。第2弾では公募により選定した作品と、VIPO事業に関連した作品も一部含む計28作品を掲載するべく、「ベルリン国際映画祭」併設マーケット開催直前（2022年2月10日～17日）に更新を行いました。
世界各国の様々な映画祭プログラマーやバイヤー等が一堂に会する大規模マーケット期間にあわせ、多くの日本映画やクリエイターを発見していただく機会を提供いたしました。

本事業では、ヨーロッパで開発された映画業界関係者向けオンライン映画視聴プラットフォーム「Festival Scope Pro」内にVIPO特設ページを開設いたしました。主に海外の映画祭プログラマーに向けて日本映画の視聴機会を提供し、映画祭への選定を促すことを目的としています。

京都映画企画市

京都府　委託事業

映画企画コンテスト

開催日：2021年11月7日（日）（初のオンライン開催）
京都で時代劇・歴史劇企画を映像化できる映画企画コンテストを開催。新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的として、映像製作者を対象に京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品企画を募集。2021年度は書類選考を通過した7企画のプレゼンテーションを行い、業界の第一線で活躍する掛尾良夫氏、橋本一監督、湊谷恭史プロデューサーの3名が応募企画を審査しました。優秀映画企画に選ばれた『幕末陰陽師・花～The Last Exorcist～』（谷口広樹プロデューサー）には、350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、京都各地で撮影が行われました。

京都映画企画市

時代劇の拠点、京都から映画・映像クリエイターの輩出及び新映画企画の実現化を支援

2020年度優秀映画企画『水虎』（金子雅和監督）が国内外で評価

『水虎』が、下記の国内外の映画祭で受賞、選出され、長編化に向けて前進しています。

- 「プチョン国際ファンタスティック映画祭」の企画マーケットである第14回NAFF It ProjectにてMocha Chai Awardを受賞。
- 第34回東京国際映画祭「Amazon Prime Video テイクワン賞」部門のファイナリスト作品に選出。
- 第4回福爾摩沙国際映画賞（台湾）で最優秀撮影賞を受賞。

優秀映画企画 完成披露上映会

開催日：2022年1月23日（日）（京都文化博物館）
2020年優秀映画企画のパイロット版の完成披露上映に加え、2019年の優秀映画企画『酢と油』（熊谷まどか監督）を上映。さらに、受賞者の金子雅和監督、美術の部谷京子氏らによるトークイベントを実施しました。

映画企画相談会

開催日：2021年10月30日（土）（オンライン）
最前線で活躍するプロデューサーの佐藤美由紀氏、西ヶ谷寿一氏から企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会をオンラインにて実施しました。

メディア芸術 海外展開事業

文化庁　委託事業

日本のメディア芸術を、世界へ

優れたメディア芸術作品を海外へ発信するため、世界のメディア芸術関連フェスティバル・施設において、文化庁メディア芸術祭の受賞作品等の展示、上映、プレゼンテーション等を行っています。年間を通じて企画展を複数回開催し、作家や専門家の派遣やオンラインでの情報発信、映画祭でのプログラム上映を実施しましたが、2021年度も前年度に続き、オンラインでの参加となりました。

1 企画展

❶「アヌシー国際アニメーション映画祭2021」（フランス）

概要

オンラインにて出展し、パネルディスカッション、ワークショップ、短編アニメーション上映などを実施。また映画祭の会期に合わせ、特設WEBサイトを開設し、受賞作品の紹介や受賞者を招いたトークセッションを開催いたしました。

- 企画テーマ：「アニメーションの拡張」（Expanded Animation）
- 企画ディレクター：岡本美津子（プロデューサー／東京藝術大学副学長、同大学院映像研究科教授）

実施内容

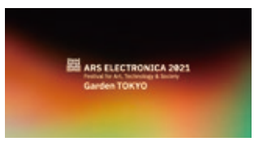
- MIFAプログラム／オンラインイベント

❶MIFA Partners Conference：パネルディスカッション「Expanded Animation ～変容する国際アニメーションフェスティバル」／パネリスト：マルセル・ジャン（アヌシー国際アニメーション映画祭ディレクター）、クリス・ロビンソン（オタワ国際アニメーション映画祭ディレクター）、ダニエル・スルジック（ザグレブ国際アニメーション映画祭ディレクター）、山村浩二（ひろしま国際平和文化祭メディア芸術部門ディレクター）、モデレーター：岡本美津子
❷MIFA Campus：「アニメーション・ワークショップ“伝わる”アニメーション」／講師：稲村武志（スタジオポノック作画監督、日本アニメーション教育ネットワーク［JENA］認定講師）／モデレーター：竹内孝次（東京アニメアワードフェスティバル ディレクター）
❸トークセッション1：「ずっと共にあるアニメ ある少女向けアニメ20年目の真実」／登壇：佐藤順一（『魔女見習いを探して』、『おジャ魔女どれみ』監督）、藤津亮太（アニメ評論家）
❹トークセッション2：「実写映画とアニメーションの交わりから生まれた新しい表現『音楽』」／登壇：岩井澤健治（『音楽』監督）、土居伸彰（アニメーション研究・評論、プロデューサー）
❺トークセッション3：「スクリーンの拡張 VR、AR、MR」／登壇：油原和記（『Canaria』監督）、待場勝利（XRコンテンツプロデューサー）

- 特設サイト

❶企画テーマ紹介❷上映プログラム紹介❸VR作品紹介 1.『諸行無常』Jonathan HAGARD、Nova Dewi SETIABUDI、Andreas HARTMANN、Dewi HAGARD、KIDA Kaori、Paul BOUCHARD 2.『Canaria』油原和記 3.『BEAT』伊東ケイスケ❹オンラインイベント紹介❺「クリエイターズファイル2021」

❷「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2021」（オーストリア）



概要

メディア芸術祭の受賞作品をはじめとした作品やトーク等の様々なコンテンツをオンラインで紹介。一部の作品・企画はアルスエレクトロニカの会場で展示を行いました。

- 企画テーマ：「The Power of the Unseen—Time, Sound, Resonance, Ecosystems, Social Bodies, Bonds and Life」
- 企画ディレクター：戸村朝子（ソニーグループ株式会社 コーポレートテクノロジー戦略部門 Group1 統括部長）

実施内容

- オンライン展示

❶小泉明郎：1.Documentation Film：VR Theatre “Prometheus Bound”　2.VR Theater：“Prometheus Unbound” Ars Electronica 2021 Garden TOKYO ver.❷吉藤オリィ：1.“分身ロボットカフェ DAWN ver.β” 2.『分身ロボットカフェ DAWN ver.β』体験デモンストレーション❸SAKUMA Kaito：1.『KEHAI：Liquid Mirror Series - Square -』2.『Ether – liquid mirror』❹東京大学 筧 康明研究室：『Algaphon』❺evalaライブパフォーマンス紹介❻オンライントークセッション紹介❼Highlighting Collective Movements：1.建築情報学会 2.Audio Game Center／DDD（Disability Driven Design）3.発酵デパートメント／発酵デザイナー 小倉ヒラク 4.METACITY／コンセプトデザイナー 青木竜太 5.QUASICRYSTAL ―コードによる織物の探求／古舘 健、株式会社細尾 6.協生農法／研究者 舩橋真俊

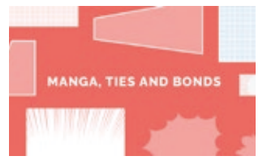
- フィジカル展示（アルスエレクトロニカ会場）

❶体験デモンストレーション：『分身ロボットカフェ DAWN ver.β』❷作品展示：『KEHAI：Liquid Mirror Series - Square -』SAKUMA Kaito❸作品展示：『Algaphon』東京大学 筧 康明研究室

- オンラインイベント

❶ライブパフォーマンス：『Chosho Hakkei in Rittor Base - Live Performance ver』出演：evala（See by Your Ears）❷トークセッション：“Memories of journey, the future of spatial acoustics - See by Your Ears” 登壇：evala、久保二朗（立体音響エンジニア）、モデレーター：戸村朝子❸トークセッション：“Solitude and bonding. We can change the world by making the impossible possible.” 登壇：吉藤オリィ（発明家、ロボット・コミュニケーター）、永廣柾人（OriHime/パイロット）、内田まほろ（キュレーター、展示プロデューサー）

❸「第27回マンガバルセロナ」（スペイン）



概要

メディア芸術祭の受賞作品をはじめとした作品や受賞マンガ家によるトークセッション等の様々なコンテンツをオンラインで紹介。

- 企画テーマ：「MANGA, TIES AND BONDS」
- 企画ディレクター：マルク・ベルナベ（翻訳家、通訳、DARUMA代表）

実施内容

- オンラインイベント

モデレーター：マルク・ベルナベ❶小日向まるこ インタビュー❷平庫ワカ インタビュー❸『約束のネバーランド』ラウンドテーブル　登壇者：Annabel ESPADA（Norma Editorial社 編集者）、Oriol ESTRADA（Manga Barcelona プログラマー）、Marta SALMONS（2D concept artist,『Pechanko!』A través del Khamsin』著者）❹『3月のライオン』ラウンドテーブル（マンガバルセロナの公式コミュニティーサイト「Manga On Demand」との連携企画として、会期後に実施）登壇者：Blanca MIRA（ライター、マンガ家）、Oriol ESTRADA（マンガバルセロナ・プログラマー）、Carlota LLORET -KARU-（ECC Ediciones 編集者・レタッチャー）

- 特設サイト

❶企画テーマ紹介❷特集展示：『3月のライオン』羽海野チカ（特別インタビュー、表紙1-16巻 書影掲載、ページ紹介、第1巻試し読み）❸作品展示：第24回受賞作品を中心に6作品を企画テーマに沿って選定し、各作品の紹介、作家紹介、書影などを掲載。作品：『塀の中の美容室』小日向まるこ（原作：桜井美奈）／『ゴールデンカムイ』野田サトル／『マイ・ブロークン・マリコ』平庫ワカ／『約束のネバーランド』出水ぽすか（原作：白井カイウ）／『Sunny』松本大洋／『かくかくしかじか』東村アキコ❹オンライントークセッション紹介

2 上映参加

3つのプログラムを海外の8フェスティバルにて上映しました。

上映プログラム

❶「第24回文化庁メディア芸術祭受賞作品上映プログラム」
❷「Expanded Animation」
❸「アニメーション × ミュージック ―メディア芸術祭受賞作より―」

参加フェスティバル

❶ アヌシー国際アニメーション映画祭2021／フランス（6月14日～19日／オンライン上映）
❷ ウォーターピーシーズ／ラトビア・リガ（7月14日～9月／リアル上映）
❸ iSTART Children's Art Festival by A4 Art Museum／中国・成都（8月8日～10月24日／リアル上映）
❹ Microwave International New Media Arts Festival／中国・香港（10月30日～11月14日／リアル上映）
❺ J-FEST／ロシア・モスクワ（10月2日～11月6日／リアル・オンライン）
❻ マンガバルセロナ／スペイン・バルセロナ（10月29日～11月1日／リアル・オンライン）
❼ ルッカ・コミック&ゲーム・フェスティバル／イタリア・ルッカ（10月29日～11月1日／リアル上映）
❽ J-Anime Meeting／ロシア・モスクワ（11月27日～11月28日／オンライン上映）

（敬称略）

VIPOアカデミー

自主事業

コンテンツ業界のリーダー育成を目的として、業界に最適化された独自の教育プログラムを提供する人材育成事業

ビジネススキルの習得だけでなく ジャンルを超えてともに学んだ受講者によるネットワークは 新しいビジネスへのきっかけになっています

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場になりました。また、グローバルで戦うビジネス力を磨く「グローバルビジネスコース」、法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「ファイナンス・エッセンシャルコース」、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」など、現在、全6コースを開講しています。2021年度も新型コロナウイルス感染防止のため、春期・秋期・冬期の全コースをオンラインで実施し、延べ31社89名に受講いただき、これまでの累計は128社723名となりました。

「チームマネジメント・スキルアップ講座」の開催

リモートワークの普及にともない一段とチームマネジメント力を強化したいと考えている方を対象に、チームマネジメント・スキルアップ講座「3月3日：権限委譲を行ない、メンバーのパフォーマンスを最大化する」、「3月10日：メンバーへのコーチング力を強化する」、「3月17日：効果的な意見を生み出す、効果的な対話・ミーティング」の全3講座を開催しました。受講者からは「知識の吸収だけでなく、他の受講者の方とロールプレイをすることで、自分の問題点を知り、対処法も学ぶことができたので大変勉強になった」との感想をいただきました。

講演会

登壇者 竹崎 忠氏
株式会社
トムス・エンタテインメント
代表取締役社長

持続可能な日本アニメ産業の未来を創る――竹崎社長が語る「アニメSDGs」と「リーダーのあるべき姿」

登壇者 村松俊亮氏
株式会社
ソニー・ミュージック
エンタテインメント
代表取締役社長 CEO
一般社団法人
日本レコード協会 会長

エンタメに対する欲求は不変。時代に応じて素晴らしい作品を届けることしかない――村松社長に聞く、ユニークな発想を生み続ける「SMEの強み」

成果発表会

業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学びの成果を発表しました。

2021年度開講内容

コーポレートリーダーコース（管理職向け）

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ファイナンス、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー（経営幹部人材）を育成します。

第13期 2021年5月13日～7月29日
第14期 2021年9月9日～11月25日

目的

- 経営者の視点を養い、経営幹部になるために必要とされる経営スキルを身につける
- コーポレートリーダーとして必要なスキルを習得し、リーダーシップを最大限に引き出す
- 他社のリーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

プロジェクトリーダーコース（中堅社員向け）

講義と演習、グループ活動を通して、企画力（ロジカルシンキング、ファイナンス、発想力）と推進力（プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション）を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第11期 2021年5月22日～7月27日
第12期 2021年9月11日～11月30日

目的

- プロジェクトリーダーとして活躍するために必要なビジネススキルを身につける
- 他社の若手リーダーと刺激し合い、ビジネスに発展するようなネットワークを構築する

グローバルビジネスコース（仕事で英語を使う方、海外とコミュニケーションを取る方向け）

実践を重視した講義（英語・日本語）と英語での演習を通して、英語でのビジネス力（コミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力）を強化することで、グローバルシーンにおいて活躍できる人材を育成します。
※英語力想定レベル：中級（TOEIC 600～700点程度）

第9期 2021年6月11日～8月20日
第10期 2021年10月8日～11月26日

目的

- グローバルシーンで通用するコミュニケーション力、交渉力、プレゼンテーション力を身につける
- 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

リーガル・エッセンシャルコース（コンテンツ関連の法務知識を習得したい方、法務部門における経験が1年程度の方向け）

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につけることで、契約トラブルを未然に防ぎ、ビジネスを広げていける人材を育成します。

第9期 2021年9月28日～11月9日
第10期 2022年2月1日～3月15日

目的

- コンテンツ業界の著作権、ライセンス、契約などのリーガル知識を身につける
- 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

ファイナンス・エッセンシャルコース（コンテンツ関連のファイナンス知識を習得したい方、経理財務部門の経験が1年程度の方向け）

コンテンツ業界のビジネスパーソンとして必要不可欠な、財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につけることで、会社やプロジェクトの数字を常に意識しながら業務を推進できる人材を育成します。

第10期 2021年10月7日～11月18日

目的

- コンテンツ業界の財務諸表、プロジェクト会計、予算管理などのファイナンス知識を身につける
- 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

業界研究ベーシックコース（コンテンツ業界の各ジャンルの基礎知識を習得したい方向け）

コンテンツ業界の各ジャンル（映画・出版・音楽・テレビ・アニメ・ゲーム・キャラクター）とその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの成功パターンを学ぶことで、ジャンルを越えたコンテンツビジネスを生みだせる人材を育成します。

第9期 2021年12月8日～2022年3月16日

目的

- コンテンツ業界各ジャンルとその展開エリアのマーケットやビジネスモデルを理解する
- コンテンツ業界の成功パターンを学ぶ
- 他社の参加者と刺激し合い、ビジネスに役に立つネットワークを構築する

VIPOアカデミーをご利用いただいた企業の人事担当者様の声

株式会社IMAGICA GROUP 人材マネジメント部 浦 裕美様

当社はVIPOアカデミー開催初年度からご縁があり、コーポレートリーダーコースとグローバルビジネスコースに毎年参加させていただいています。研修ではメンバー同士のディスカッションはもちろん、講師に対しても積極的に意見をぶつけていて、そのやりとりがより深い理解を促進しているように感じます。多くの気づきを得ることができ、自分の行動に落とし込めるという点がこの研修の一番の魅力ではないでしょうか。受講した社員からは、「課題が多く大変だったが参加してよかった」、「ぜひ他の社員にも勧めたい」といった感想が多く、充実した講座内容が参加者の学びと満足度につながっていることを実感しています。
何より、業界のトレンドや世の中で何が起こっているのかをキャッチアップしつつ、他社の方々とのネットワークもできるのは、社員にとっても会社にとっても大きなメリットです。今後もぜひ継続して参加させていただきたいと考えています。

株式会社サンリオ 総務部人事課 中川恒之様

会社の特性上、社外の風土を感じることが少なく、社外にも視野を向けることが重要だと思っていた時でしたので導入いたしました。
今回、私自身がコーポレートリーダーコースを受講することで、業務課題に対して俯瞰で見ることが習慣化しました。それぞれの案件を部門視点ではなく事業視点で見ることができ、社内連携の重要性に気づき、業務進行もスムーズになりました。また、部下との面談でもコミュニケーションが円滑になり、部下自身のモチベーションが上がったことも成果の一つです。
内容や結果に対してとても満足しております。受講して2年経った今でも他社の受講生たちと良い関係が築けており、何度か新規の取り組みにもつながっております。同じ業界の同世代で切磋琢磨する研修は非常に有意義なものです。社内外問わず、お勧めしたいセミナーです。

公開コース以外に企業内集合研修（インハウス研修）を提供

2018年度より、公開コース以外に企業のニーズに合わせた企業内集合研修（インハウス研修）を実施しています。2021年度は「ビジネスプランニング・ワークショップ」を実施しました。
企業のニーズに合わせて研修内容をカスタマイズした派遣型インハウス研修を最短半日より実施することが可能です。
（オンライン開講も可能）　詳細はhttps://vipo-academy.jp/in-house_training/

これまでの実績　リーダーシップ講座（キャラクター業界、音楽業界ほか）／ロジカルシンキング講座（音楽業界）／クリティカルシンキング講座（その他）／英文ビジネスライティング講座（映画業界）／ファイナンス・エッセンシャル講座（音楽業界）／リーガル知識講座（映画業界）ほか

VIPOアカデミーの公式サイトでは、企業内集合研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。

「VIPOアカデミー」公式サイト
https://vipo-academy.jp/

「VIPOアカデミー」公式ツイッター
https://twitter.com/VIPO_ACADEMY

VIPOインタビュー

広報活動の一環として2016年からスタートしたVIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、プロジェクト等をテーマにさまざまな方にインタビューを実施。また、VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の講演やセミナー内容を記事化して紹介しています。
（掲載先　https://www.vipo.or.jp/interview/list/）

2021年6月

米国で活躍する音楽プロデューサー備氏に聞く！海外の映像作品で自分の楽曲が流れるために、今すべきこととは

日本人初の作曲家エージェントとして多数のハリウッド映画やドラマシリーズ、ゲームに作曲家を紹介する備 耕庸氏のオンラインセミナー「海外の映像作品で自分の楽曲が流れるために、今すべきこと」を記事化。

2021年7月

国際共同製作における企画発案から完成まで――J-LOD補助金（2）を活用した最新作を監督・共同プロデューサー陣と完成までの道のりを語る!

国際共同製作のプロデューサー育成を目指し開催したトークセミナーを記事化。『海辺の彼女たち』をベトナムとの共同製作で完成させた日本側プロデューサー渡邉一孝氏と藤元明緒監督、ベトナム側のプロデューサー ジョシュ・レヴィ氏、ヌエン・ル・ハン氏が登壇。

2021年8月

持続可能な日本アニメ産業の未来を創る――トムス・エンタテインメント 竹崎社長が語る「アニメSDGs」と「リーダーのあるべき姿」

竹崎 忠氏（株式会社トムス・エンタテインメントの代表取締役社長）のVIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演を一部抜粋・再構成して記事化。

2021年9月

ndjc2017出身監督 池田 暁監督が語る、若手映画作家育成プロジェクトがつないでくれた縁『きまじめ楽隊のぼんやり戦争』が生まれるまで

2017年度の「ndjc：若手映画作家育成プロジェクト」で短編を製作し、「90分程度の映画脚本開発」（2018）の最終選考者に選ばれ、「長編映画の実地研修」（2019）において、初の商業映画を製作した池田監督にインタビュー。

2021年11月

今秋公開『梅切らぬバカ』の和島香太郎監督が「ndjc：若手映画作家育成プロジェクト」を通して学んだこと、得たもの

54年ぶりの主演で話題となった加賀まりこさんと人気芸人・塚地武雅さんが親子役で共演した映画『梅切らぬバカ』（2020年「長編映画の実地研修」で製作）の監督・脚本を務めた和島香太郎監督にインタビュー。

2022年1月

内閣府に聞く――アフターコロナにおける「クールジャパンの再構築」とは

ウイズコロナにより我々の価値観も大きく変わり、変革を余儀なくされたコンテンツ市場。アフターコロナを見据えた「クールジャパンの再構築」の方策について内閣府 知的財産戦略推進事務局長 田中茂明氏にインタビュー。

2022年2月

エンタメに対する欲求は不変。時代に応じて素晴らしい作品を届けることしかない――ユニークな発想を生み続けるソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役社長 CEO 村松俊亮氏に聞く

村松俊亮氏（ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役社長 CEO／一般社団法人日本レコード協会 会長）のVIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演を一部抜粋・再構成して記事化。

コンテンツ業界向け セミナー＆ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成を メインにセミナーやワークショップを開催

セミナー 中国ビジネス攻略セミナー

"変化の激しい中国コンテンツ業界の最新状況"を俯瞰して理解できるセミナーとして、2018年より開催しています。中国コンテンツ市場概況、コンテンツ分野別市場規模および最新トピック、中国コンテンツ業界主要プレイヤー概況などの最新情報や、中国コンテンツ関係法規制概要および最新動向や厳格化される各種検閲規制の最新情報とその対応などについてのお話しを中心に、それぞれ約2時間のセミナーを実施し、2021年度4月版においては、ビジネス編75名、法務編52名、2022年3月版においては、ビジネス編54名、法務編52名の方々が参加し、豊富な資料と実例紹介は大変好評を得ました。

開催日 ①2021年4月版 ： 4月7日(水)(ビジネス編)、4月14日(水)(法務編)　オンライン開催
②2022年3月版 ： 3月10日(木)(ビジネス編)、3月17日(木)(法務編)　オンライン開催
講　師 分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表／CEO)

セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

開催日 2021年5月27日(木)、12月16日(木)　オンライン開催
講　師 福井健策氏(弁護士[日本・ニューヨーク州]／日本大学藝術学部・神戸大学大学院・iU客員教授)

第11弾 「近年の著作権改正とDX時代に向けた著作権」
複雑多様化するDX時代に対応するためには、法規制だけではなく業界を挙げての仕組みづくりなどメニューミックスが大事であり、我々個々がリテラシーを強化していく必要であることを学びました。

第12弾 「DX化と著作権の権利処理実務」
利用者が著作権への理解を深めれば、著作物の利用円滑化が一層進み、新たな対価還元の創出に繋がっていきます。本講座では著作権の権利全般のおさらいから利用規約の重要性、NFTやメタバースの法律問題を学びました。

セミナー エンタメマーケター養成講座2021（全4回）

開　催　日 2021年6月7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)の全4回　オンライン開催
メイン講師 鈴木貴歩氏(ParadeAll株式会社 代表取締役 エンターテック・アクセラレーター)

全4回を通して講座前半に鈴木講師からエンターテインメントとテクノロジーが融合したプロモーションやマーケティングを紹介しました。

第1弾 開催日：6月7日(月)　タイトル：「エンタメマーケティング概論2021と音楽マーケティングにおけるデザイン思考」
ゲスト：梶 望氏(ソニー・ミュージックレーベルズ 第三レーベルグループ EPICレコードジャパン)
第2弾 開催日：6月14日(月)　タイトル：「映画、映像領域のエンタメマーケティングとコミュニケーション戦略」
ゲスト：久保浩章氏(株式会社フラッグ 代表取締役)
第3弾 開催日：6月21日(月)　タイトル：「日本のエンタメやカルチャーを世界に伝える海外PR」
ゲスト：J.C.Talk氏(JAPANESE CULTURE PR TEAM プロデューサー)
第4弾 開催日：6月28日(月)　タイトル：「ソーシャル時代のエンターテインメント・プロデュース」
ゲスト：廣井紀彦氏(ALPHABOAT合同会社 Entertainment Studio Unit General Manager)

セミナー 中国セミナー俳優編

中国大ヒットTVドラマ『偽装者』『鋼鉄年代』ほか数々の中国TVドラマに出演する日本人女優・松峰莉璃氏を迎え、中国エンタメ業界の常識やビジネス習慣など、その稀有な経験を伺いました。脚本家、助監督、プロデューサーとしても活躍する松峰氏が、日本のテレビドラマとは全く異なるその制作プロセスや、中国で好まれる企画の題材やテーマについて具体的に紹介し、合計104名の方が視聴しました。

松峰莉璃氏

開　催　日 2021年7月14日(水)、21日(水)〈2日間〉
講　　師 松峰莉璃氏 (俳優、脚本家、プロデューサー、演出家)
モデレーター さらだたまこ氏(放送作家)

セミナー 城西国際大学　業界研究セミナー

今回3回目となる城西国際大学の学生を対象とした、業界研究セミナーを開催しました。昨年に引き続きオンラインでの開催となり、4業界(①イベント企画運営 ②芸能プロダクション ③広告／プロモーション企画 ④映像／アニメ制作)から各2社にご登壇いただきました。各業界を目指すにあたり予め準備すべきことや、業務の内容など経験に基づいたリアルな視点からお話しいただき、視聴した学生からも、業界を目指すための心構えができたと、大変好評をいただきました。

開 催 日 2021年10月23日(土)、30日(土)
登壇企業 ①イベント企画運営(音楽・ステージ等)：株式会社フロンティアインターナショナル、株式会社東京音響通信研究所
②芸能プロダクション：株式会社スマイルカンパニー、東宝芸能株式会社
③広告／プロモーション：verbal inc.、 株式会社クオラス
④映像／アニメ制作：株式会社ABCアニメーション、助監督　鳥井雄人氏

セミナー 長編3Dアニメーション映画『トゥルーノース』セミナー

アヌシー国際アニメーション映画祭2020長編アニメーション部門ノミネート他数々の国際映画祭で受賞の長編3Dアニメーション映画『トゥルーノース』誕生の経緯から、海外スタッフとの製作等について、清水ハン栄治監督を迎えてお話しいただきました。

タ イ ト ル 「金なし、コネなし、経験なしの監督による世界で絶賛の国際共同製作映画！初監督作品で全国劇場公開、数々の国際映画祭で受賞の長編3Dアニメ映画『トゥルーノース』の話」
開　催　日 2021年10月28日(木)　オンライン開催
登　壇　者 映画監督 清水ハン栄治氏
モデレーター ジャーナリスト 数土直志氏

セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第6弾

「映画」を題材に映像コンテンツ製作に必要不可欠なプロデュースの基礎知識を集中的に学びました。

安藤紘平氏

石川 慶氏

開　催　日 2021年12月1日(水)、2日(木)、3日(金)〈3日間〉　オンライン開催
講　　師 安藤紘平氏(映画監督 早稲田大学名誉教授)
最終日ゲスト 石川 慶氏(映画監督『愚行録』『蜜蜂と遠雷』等)

セミナー 音楽シンクビジネス法律編：賢くグローバルに稼ぐための法律知識

海外の映像に日本の音楽が使用される際の海外音楽シンクビジネスにおいて注意すべきビジネス慣習の違いや契約における注意点等を、音楽をはじめとするエンタメ・スポーツ業界に特化した法律事務所Field-Rの代表である山崎卓也弁護士をスピーカーに迎え解説するセミナーを実施。46名にご参加いただきました。

開催日 2021年12月8日(水)　オンライン開催
講　師 Field-R法律事務所 弁護士 山崎卓也氏

セミナー テレビドラマ制作セミナー

第一線で活躍する脚本家とテレビプロデューサーによるセミナー。ドラマが全世界配信される時代に日本のテレビドラマづくりはどうなるのか。日本発の面白いドラマを生み出す脚本家とプロデューサーにご登壇いただきました。一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム共催。

水橋文美江氏

さらだたまこ氏

開　催　日 2022年1月13日(木)　オンライン開催
テ　ー　マ 「これからの日本のテレビドラマに必要なこと」
講　　師 脚本家 水橋文美江氏『#リモラブ』『ホタルノヒカリ』
日本テレビ放送網株式会社 情報・制作局 ゼネラル・プロデューサー 櫨山裕子氏
モデレーター 放送作家 さらだたまこ氏

ワークショップ 海外見本市で役立つ英語ピッチトレーニングプログラム：実践的セールスコミュニケーション編

海外見本市、ビジネスマッチング等の参加が初心者向けの短期のピッチトレーニングプログラム。自社の作品を打ち出すために、海外セールスの基本的知識を学び、短い準備期間で、自身でピッチを準備できるようになるためのトレーニングをオンラインで実施しました。4社から6名の方にご参加いただきました。

開催日 2022年1月20日(木)、27日(木)、2月3日(木)(全3回)　オンライン開催
講　師 林 美千代氏(ブランドプロミス合同会社)
石井清猛氏、浅川奈美氏、ビル ライリー氏(日本映像翻訳アカデミー株式会社)

ワークショップ アクターズワークショップ

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する講師による俳優養成講座をオンラインで開催。講義や演技指導では一人一人に向けて懇切丁寧な指導と助言がありました。

成島 出氏

講　師 成島 出氏(映画監督、脚本家『八日目の蝉』、『いのちの停車場』等)
第10弾 開催日 ： 2022年2月8日(火)、15日(火) ※感染症対策を講じたうえでリアル開催

セミナー 映画脚本読み込み講座 第5弾

映画においてもっとも重要な脚本とは何か。土台であり設計図である脚本をいかに読み込むか。脚本の理論を丁寧で分かり易く解説。加藤講師のご経験から、より具体的で実践的な講義になりました。

開催日 2022年3月14日(月)、15日(火)〈2日間〉
講　師 脚本家・加藤正人氏(日本シナリオ作家協会理事)

コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金

経済産業省　補助事業

本事業は、経済産業省の令和2年度予算による「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金」（約54.5億円）を受け、
❶ コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援
❷ 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援
❸ 先進技術を活用した公演の収益の多様化・強靱化を行う事業の支援
❹ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発・実証を行う事業の支援
❺ デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援
を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的としています。
当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため以下の❶❷❸❹❺の必要経費の一部を助成するものです。

❶ コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

コンテンツが主体となった、またはコンテンツを有効活用した海外展開を行う際のローカライズおよびプロモーションを行う事業が対象となっています。（2021年4月16日より公募を開始）

❷ 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

海外展開を目指す映像コンテンツの企画・開発として試作映像等を制作する事業が対象となっています。（2021年3月31日より公募を開始）

❸ 先進技術を活用した公演の収益の多様化・強靱化を行う事業の支援

収益の多様化・強靱化を行う、音楽、演劇等の国内公演の実施及び当該公演の海外向け動画のデジタル配信の実施による日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業が対象となっています。（2021年4月16日より公募を開始）

❹ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発・実証を行う事業の支援

コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業が対象となっています。（2021年4月16日より公募を開始）

❺ デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業が対象となっています。（2021年3月31日より公募を開始）

交付決定結果

▶ 2021年3月から2022年1月までの補助金公募期間において

交付決定件数 241件

交付決定事業者数 147社

主な活動内容

▶ 補助金の対象や申請方法などを紹介する「補助金説明会」を開催。また、説明動画をホームページに掲載しました。

▶ 申請を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催。また、メールや電話での相談も随時受け付けしました。

▶ 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催しました。

J-LOD活用事例

❶ コンテンツ等の海外展開を行う際のローカライズ及びプロモーションを行う事業の支援

映画『ドライブ・マイ・カー』カンヌ国際映画祭出品および海外販売
有限会社ビターズ・エンド

2021年7月6日～7月17日開催のカンヌ国際映画祭コンペティション部門で『ドライブ・マイ・カー』を上映。濱口竜介監督、キャストの三浦透子、霧島れいか、山本晃久プロデューサーが現地参加し、本作を世界中にプロモーションしました。

© 2021『ドライブ・マイ・カー』製作委員会

❷ 海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援

和田 淳監督新作シリーズ「いきものさん」パイロット版制作
株式会社ニューディアー

国際的な評価を受ける和田 淳監督による短編シリーズアニメーション『いきものさん』について、国際的な座組での本格的な制作に入れるようにするためのパイロット版エピソード(各種素材含む)を作成しました。

❸ 先進技術を活用した公演の収益の多様化・強靱化を行う事業の支援

RADWIMPS ROLE-PLAYING MUSIC “SHIN SEKAI”
有限会社voque ting

アーティスト「RADWIMPS」の音楽とパフォーマンスをバーチャル空間で体験できるプロジェクトを企画・制作し、7月16日～18日の3日間にわたりスマホアプリで参加できるイベントを開催しました。3Dスキャン、モーションキャプチャ、4D Views、ポイントクラウドといったテクノロジーを駆使して創り上げ、新たな臨場感のあるサービスを全世界で40余りの国・地域に届けました。

❹ コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発・実証を行う事業の支援

楽曲プレイリスト制作支援システム
オンガラボ株式会社

本事業では、人間の記憶力のみに依存せずにAI技術の力で良質な楽曲プレイリストの制作を支援することで、生産性と日本発の楽曲のプレゼンスを高めることを目的とした、楽曲プレイリスト制作支援システムを開発しました。音楽レーベルが自社の楽曲カタログ（音源ファイル、メタデータ）を本システムに登録すると、その音楽を自動解析する技術を使った音楽印象検索機能により、例えばヒット曲等に印象（曲調や雰囲気）が近い自社の楽曲を探すことができます。本事業の実証実験の結果、人間の記憶に頼らずに多数の楽曲の中から選曲をしてプレイリストが制作でき、プレイリスト制作時間も削減できることを確認しました。

❺ デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業の支援

『Re: 』―小樽の新たな夜明け―
株式会社福島工務店

小樽の魅力、その復活の兆しを共感できる映像を広く発信することで多くの観光客の再来訪を促し、小樽の再開発を再始動させることを目指しました。映像制作により、当社課題である「小樽の観光業を復活させて、建設プロジェクトを再始動」の解決を目指しています。

コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金

新規事業

経済産業省　補助事業

本事業は、経済産業省の令和3年度予算による「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金」（約556.5億円）を受け、
（1）海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援
（2）海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援
（3）withコロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援
（4）コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援
（5）ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援
を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的とし、5つの事業の支援業務を運営してまいります。

コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金

経済産業省　補助事業

J-LODlive

本事業では、経済産業省の令和2年度「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金」（約878億円）（通称：J-LODlive、読み：ジェイロッド・ライブ）を受け、国内外の新型コロナウイルス感染拡大により、日本発のコンテンツの海外展開のプロモーションの機会が失われていることを受け、音楽、演劇等（文化芸術基本法（平成13年法律第148号）第8条ないし第11条に定める文化芸術分野をいう。）の国内における公演および当該公演を収録した動画の全部または一部の海外向けのデジタル配信の実施によって日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業に係る費用について、その費用負担を軽減するため、当該事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を補助し、日本発のコンテンツの海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大および訪日外国人等の促進につなげることを目的としています。

J-LODlive（キャンセル料支援）

国内外の新型コロナウイルス感染拡大により日本発のコンテンツの海外展開のプロモーションの機会が失われていることを受け、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部決定、令和2年3月28日（令和3年1月7日変更））の発出に伴い、緊急事態宣言発令地域及び事務局が定める地域において、音楽、演劇等（文化芸術基本法（平成13年法律第148号）第8条ないし第11条に定める文化芸術分野をいう。）の公演、展示会、遊園地及びテーマパーク（以下、「遊園地等」という。）の開催等を延期・中止し、当該公演や展示会、遊園地等の内容に関連する素材を使用した動画の海外向けデジタル配信の実施によって日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業者に対し、補助金を交付することによって、日本発のコンテンツの海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大及び訪日外国人等の促進につなげることを目的としています。

交付決定結果

▶ 2020年5月27日より2022年7月29日までの事業のため現在継続中。（繰越しに伴い延長）

コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（三次補正）

経済産業省　補助事業

J-LODlive2

本事業では、経済産業省の令和2年度「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（三次補正）」（約1,343億円）（通称：J-LODlive2、読み：ジェイロッド・ライブ・ツー）を受け、国内外の新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、日本発のコンテンツの海外展開のプロモーションの機会が失われていることを受け、音楽、演劇等（文化芸術基本法（平成13年法律第148号）第8条から第11条に定める文化芸術分野をいう。）の国内におけるポストコロナを見据えた収益基盤の強化に資する公演及び当該公演を収録した動画の全部又は一部の海外向けのデジタル配信の実施によって日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業者に対して、補助金を交付することにより、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、「日本ブーム創出」を通じた「関連産業の海外展開の拡大」及び「訪日外国人等の促進」につなげることを目的としています。

J-LODlive2（キャンセル料支援）

国内外の新型コロナウイルス感染拡大により日本発のコンテンツの海外展開のプロモーションの機会が失われていることを受け、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部決定、令和2年3月28日（令和3年1月7日変更）の発出に伴い、緊急事態宣言発令地域及び事務局が定める地域において、音楽、演劇等（文化芸術基本法（平成13年法律第148号）第8条から第11条に定める文化芸術分野をいう。）の公演、展示会、遊園地及びテーマパーク（以下、「遊園地等」という。）の開催等を延期・中止し、当該公演や展示会、遊園地等の内容に関連する素材を使用した動画の海外向けデジタル配信の実施によって日本発のコンテンツのプロモーションを行う事業者に対し、補助金を交付することによって、日本発のコンテンツの海外展開を促進し、日本ブームの創出を通じた関連産業の海外展開の拡大及び訪日外国人等の促進につなげることを目的としています。

交付決定結果

▶ 2021年4月7日より2022年11月30日までの事業のため現在継続中。（繰越しに伴い延長）

主な活動内容［J-LODlive、J-LODlive2］

▶ オンラインによる説明会&個別相談の実施
- 説明会の実施（申請／確定検査／専門家）
- 個別相談会の実施（申請／変更／確定検査）
- 電話・メールの問い合わせ窓口を事務局内に立ち上げ、事業者の質問に対応

▶ 公募要項の説明動画の掲載

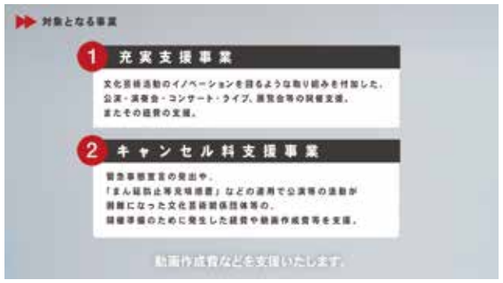
▶ 特設ホームページでのFAQの掲載

▶ 事業者への「お知らせ」メールの配信

ARTS for the future！（コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業）

文化庁　委託事業

本事業では、新型コロナウィルスにより、文化芸術活動の自粛を余儀なくされた文化芸術関係団体において、感染対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、文化芸術振興の幅広い担い手を巻き込みつつ、「新たな日常」ウイズコロナ時代における新しい文化芸術活動のイノベーションを図るとともに、活動の持続可能性の強化に資する取り組みを支援することを目的としています。



【補助の対象者】

国内の文化芸術関係団体、国内の文化施設の設置者又は運営者に該当する法人もしくは任意団体。（公演等の開催に資金面での責任を持つ者）

【対象となる活動】

不特定多数の者に公開する公演や展覧会等の活動を行い、チケット収入等を上げることを前提とした積極的な活動。

(1)充実支援事業
公演・演奏会・コンサート・ライブ、展覧会等を開催する等の積極的な取組。

(2)キャンセル料支援事業
キャンセル料支援事業対象地域で行う予定であった公演等および動画の作成。

【補助対象分野】

文化芸術基本法第8条から第12条に定める文化芸術分野。

【補助額】

1団体あたり補助上限区分に応じて、最大600万円～2,500万円。

【スケジュール】

2021年1月8日から2021年12月31日までに行われる公演等・展覧会等・映画製作が補助対象。

- 1次募集　募集期間：2021年4月26日（月）～2021年5月31日（月）23:59
- 2次募集　募集期間：2021年9月6日（月）～2021年9月17日（金）23:59

■申請件数

- 申請件数：11,200件（1次募集 5,368件、2次募集 5,832件）
- 交付決定件数：7,024件（1次募集 2,713件、2次募集 4,311件）

■主な活動内容

- 補助金の対象者や申請方法などを解説する「オンライン説明会」を開催。
- 申請を検討する事業者に対して、「オンライングループ相談会」を実施。
- 交付決定を受けた事業者を対象に、実績報告時の注意点等を解説する「交付決定者向けオリエンテーション」を実施。
- 交付決定した全案件について、実績報告の確認作業、額の確定作業を実施。

ARTS for the future! 2（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）

新規事業　文化庁　委託事業

長期にわたるコロナ禍により甚大な影響を受けた文化芸術活動の再興を図るため、プロの文化芸術関係団体が、感染対策を十分に実施した上で積極的に公演等を開催し、その活動の充実・発展を図る取組を支援する補助金、その運営事務局を昨年度のARTS for the future!に続き受託しました。

【対象となる事業の期間】

2022年1月1日（土）から2022年12月31日（土）までに実施される活動

【募集期間】

2022年3月28日（月）～予算消化の目途が立つまでの間、随時募集

【ARTS for the future!（昨年度）からの主な変更点】

- 2020年度の売上高が2019年度比20%以上減少していない営利法人は下記充実支援事業の対象となりません。
- 充実支援事業は、原則として定額補助となります。但し、2021年度（2021年4月から2022年3月）のいずれの月の売上高も前年又は前々年の同月比で30%以上減少していない（月次売上高が前年又は前々年比マイナス30%以上の月が全くない）営利法人は、補助率1/2となります。

統括団体によるアートキャラバン事業

新規事業　文化庁　委託事業

コロナ禍からの文化芸術活動の再興のため大規模で質の高い公演等の実施や配信を支援し、需要喚起や業界全体の活性化を図り（大規模公演型）、地域の文化芸術関係者の力を合わせ文化芸術の振興を推進する（地域連携型）事業です。
※令和2年度補正予算（3号）による「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の後継として、令和3年度補正予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

【補助対象期間】

2022年1月1日（土）～2023年1月31日（火）

コンテンツ海外展開促進事業

コンテンツ関連ビジネスマッチング事業

経済産業省　委託事業

日本発のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや先進的なコンテンツ技術の成長を継続・発展させていくため、コンテンツの海外展開に向けた市場を拡大するとともに、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションを促進し、関連産業への波及を生み出していくことを目的としたプロジェクト。日本のコンテンツホルダーへビジネスマッチングの機会を提供することにより、日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出を図ります。

「国際共同製作における企画発案から完成まで」トークセッション

国際共同製作を目指す若手プロデューサーに向けて、30代にして長編2作品『海辺の彼女たち』、『僕の帰る場所』の国際共同製作を成し遂げた渡邉一孝プロデューサーと藤元明緒監督、ベトナム側の共同プロデューサーに、昨年度のBCPM(Berlinale Co-Production Market)に参加した経験やJ-LOD補助金(②海外向けコンテンツ製作に資する資金調達・人材育成を行う事業の支援)を活用した国際共同製作における企画発案から完成までの流れを語るトークセッションを実施しました。

【開催日】2021年4月27日(火)
【会　場】オンライン開催

アヌシー国際アニメーション映画祭「MIFA」ジャパンパビリオン出展

アヌシー国際アニメーション映画祭併設見本市「MIFA」においてオンラインにてジャパンパビリオンを出展。リアルでのビジネスマッチング事業のブース出展は2018年以来となり、日本のアニメーション企業7社に海外マーケットへコンテンツを展開するための商談機会を提供しました。

【開催日】2021年6月15日(火)～18日(金)
【会　場】オンライン開催

长信传媒(G.H.Y Culture & Media)脚本家ビジネスマッチング

日本の脚本家が持つオリジナル企画を海外で映像化することを目指し、中国・シンガポールを拠点に映像制作をしている长信传媒(G.H.Y Culture & Media)社と日本の脚本家とのビジネスマッチングを実施。日本から5名の脚本家が参加しました。

【開催日】2021年6月21日(月)、24日(木)
【会　場】オンライン開催

「A-JAPAN(Acceleration-JAPAN)」ビジネスマッチング

日本IPを北米・海外のプロデューサーにセールスし、海外でのTVシリーズ化・リメイク化を促進するため、ハリウッドを中心とする映像業界関係者に向けたマッチングオンラインイベントを実施。日本の6作品が参加しました。

【開催日】2021年7月8日(木)～13日(火)
【会　場】オンライン開催
【協　力】Amuse Group USA

プチョン国際ファンタスティック映画祭ピッチング「NAFF It Project」「NAFF Fantastic Film School」

「NAFF It Project」に、『水虎』、『Quantum Suicide』の2企画が参加。世界から招待された映画関係者を相手にオンラインで計56件のピッチを実施し、『水虎』はポストプロダクションサポート部門にてMocha Chai Awardを受賞。「NAFF Fantastic Film School」には、青山エイミー氏(プロデューサー)が参加しました。

【開催日】「NAFF It Project」:2021年7月8日(木)～13日(火)
「NAFF Fantastic Film School」:2021年7月8日(木)～14日(水)
【会　場】オンライン開催

崑崙ゲーム化IPビジネスマッチング

TVアニメ『BLEACH』を題材にしたスマートフォンゲーム『BLEACH Soul Rising』などの人気ゲームを制作・配信する崑崙グループ北京乐享方舟游戏科技有限公司(GameArk)と日本のIPホルダーとのビジネスマッチングを実施。選考を通過した日本企業3社(合計12IP)が参加しました。

【開催日】2021年7月26日(月)、27日(火)、29日(木)
【会　場】オンライン開催

「ChinaJoy」ビジネスマッチング

上海で開催された「ChinaJoy(China Digital Entertainment Expo & Conference)2021」ビジネスデーにおいてジャパンパビリオンを展開。展示会場では、現地スタッフが日本のアニメ・ゲーム関連作品・IPを紹介し、ミーティングサポートやバイヤー紹介等のフォローアップを行いました。日本からは、現地への参加はできなかったものの、ゲーム、アニメーション、コミック等のIP企業14社が出展し、日本館には合計約1000名が来訪しました。

【開催日】2021年7月30日(金)～8月1日(日)(ChinaJoyビジネスデー)
【会　場】上海新国際博覧センター
【協　力】JCCDグループ

釜山国際映画祭併設見本市「Asian Contents & Film Market(ACFM)2021」オンライン出展

釜山国際映画祭併設見本市として、企画マーケット「Asian Project Market(APM)」と同時開催されている「Asian Contents & Film Market(ACFM)2021」においてVIPOブースを出展し、最新の日本映画企画を紹介。選出された5企画の監督とプロデューサーが、配給会社等の映画関係者に向けてピッチング(個別ミーティング)を実施しました。

【開催日】2021年10月11日(月)～14日(木)
【会　場】オンライン開催

釜山国際映画祭併設見本市「E-IP Market 2021」オンライン出展

釜山国際映画祭併設マーケット「E-IPマーケット」にて、映像化を目指す出版物(書籍／電子書籍／脚本等)のプロモーションのため、7企業が参加。昨年同様、ACFM(Asian Contents & Film Market)とパートナーシップを結び、ジャパンデリゲーションとしてのサポートを依頼。7社は4日間で合計83件の商談を行いました。

【開催日】2021年10月11日(月)～14日(木)
【会　場】オンライン開催

Perfect World Pictures 脚本家ビジネスマッチング

日本の脚本家が持つオリジナル企画を中国で映像化することを目指し、中国大手の映像制作会社であるPerfect World Picturesのドラマ部門と日本の脚本家とのビジネスマッチングを実施。ビジネスマッチングには、日本から4名の脚本家が参加しました。

【開催日】2021年10月18日(月)
【会　場】オンライン開催

韓国映像化IPビジネスマッチング

韓国の映像制作会社3社に対し、日本の小説・コミックなどの映像化の原作および映画やドラマのリメイク権などを売り込むビジネスマッチングを実施。日本から出版社・テレビ局など11社が参加しました。

【開催日】2021年10月25日(月)、26日(火)、27日(水)、29日(金)、11月10日(水)
【会　場】オンライン開催
【協　力】株式会社ロボット、日韓IPコーディネート専門チーム(J-KIP)

「JMAP(Japanese Movie & Animation Pitching)」ピッチトレーニング &TIFFCOMオンラインピッチング

実写・アニメーションジャンルにおいて国際共同製作を目指すプロデューサーや監督に対し、事前に全5回のピッチトレーニング(「E-IP Market」参加者1名も参加)を行った上で、TIFFCOMにて、オンラインのピッチセッションを実施。実写映画作品を持つ4名とアニメーション作品を持つ4名が参加し、各ピッチには、海外の業界のプロフェッショナルがフィードバックを寄せました。

【開催日】トレーニング:2021年8月～9月
　　ピッチセッション配信:2021年11月1日(月)～30日(火)
【会　場】オンライン開催

TIMM連携企画GMS(Guild of Music Supervisors)セミナー第2弾 「映画・ドラマ、その他新しいメディアにおける音楽のシンクビジネスチャンスと最新事情」

2020年度に開催した米国GMSの音楽海外シンクビジネスセミナーの第2弾として、シンクビジネスに携わる4名が、担当分野のミュージックスーパーバイジングについて語りました。

【開催日】2021年11月1日(月)17:00～TIMM Onlineにて配信
【会　場】オンライン開催
【共　催】一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団(JMCE)、Guild of Music Supervisors(GMS)
【登壇者】ジョナサン・マクヒュー氏、シーズン・ケント氏、グウェン・ライリー氏、アニタ・ネデリコヴィッチ氏

ロッテルダム国際映画祭併設プロデューサーラボ「Rotterdam Lab 2022」

世界3大映画祭に次ぐ重要な映画祭「International Film Festival Rotterdam(IFFR)2022」と同時開催されているプロデューサーラボ「Rotterdam Lab 2022」においてVIPO推薦のプロデューサー2名を派遣しました。

【開催日】2022年1月24日(月)～2月2日(水)
【会　場】オンライン開催
【参加者】井出陽子氏(アスミック・エース株式会社)、戸田ひかる氏(Little Stranger Films合同会社)

ベルリン国際映画祭併設マーケット「Berlinale Co-Production Market Visitors Programme」

国際的に活躍するプロデューサー、セールスエージェント、ディストリビューター等が集まり、国際共同製作のためのネットワーキングおよびプロジェクトをプレゼンテーションするためのプラットフォーム「Berlinale Co-Production Market」の体験版という位置づけのVisitors Programme(ビジターズプログラム)に、日本の監督・プロデューサー5名が参加。マーケットでの活動内容や、交渉、資金調達の流れ等や国際共同製作の最近の動向等について、直接的に体験し学べる場を提供しました。

【開催日】2022年2月12日(土)～16日(水)
【会　場】オンライン開催

「Books at Berlinale」参加支援

ベルリン国際映画祭に併設されているBook to Filmのマーケット「Books at Berlinale」への日本の出版社の参加促進を目的として3つの施策を実施しました。①各国の出版社・出版エージェントが実施するピッチの視聴、②各国の映像制作会社等との1on1でのオンラインミーティングへの参加、③「Books at Berlinale」の代表Henning Adam氏による日本の出版社向け説明会。

【開催日】2022年2月14日(月)～16日(水)
【会　場】オンライン開催

「Asian Animation Summit(AAS)」ピッチイベント

北米最大のキッズエンターテインメント向け産業見本市である「Kidscreen Summit」の主催者が、アジア・オセアニア地域で開催する今年10回目を迎える企画ピッチイベント「Asian Animation Summit(AAS)」に、日本企業2社が参加しました。参加者は、メンターによる事前のオンラインセッション(全6回)を受講の上、VIPバイヤー4社とミーティングを実施しました。

【開催日】2022年3月7日(月)～11日(金)
【会　場】オンライン開催(「Kidscreen Summit Virtual 2022」の一部として開催)
【参加企業】株式会社ニューディアー、株式会社ABCアニメーション

「Kidscreen Summit Virtual 2022」ジャパンパビリオン出展

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である「Kidscreen Summit Virtual」において、ジャパンパビリオンを出展。今年で4度目の出展となり、日本の子ども・ティーン向けコンテンツ企業に海外マーケットへコンテンツを展開するための商談機会を提供。ジャパンパビリオンへは日本企業9社が参加しました。

【開催日】2022年3月7日(月)～11日(金)
【会　場】オンライン開催

第14回日中韓文化コンテンツ産業フォーラム

日本・中国・韓国におけるコンテンツ産業政策、動向に関する継続的な情報交換および各国産業界間のビジネスチャンスの創出を目的とする国際会議を実施。本年度は、中国が主催国となり、3か国のコンテンツ産業担当政府、政府系機関、学術機関および産業界の方々が参加。第1部は、政府間会議、第2部は、日中韓デジタルコンテンツ文化企業交流会とし、4つの分野(オンラインライブ配信、没入型体験式エンタメ、デジタル音楽、アニメ産業)に分かれて各国の企業間での交流会が実施され、活発な意見交換が行われました。

【開催日】2021年10月27日(水)
【会　場】オンライン開催

「ACBS(ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT)」バンコクASEAN映画祭

幹事国のタイでリアル開催された「バンコクASEAN映画祭」と連動し、プレゼンテーションやパネルディスカッションを実施。第1部は、Country Report(マレーシア、シンガポール、香港・中国、インドネシア、韓国)、第2部は、「Going Virtual」という議題にて、各国からの登壇者によるパネルディスカッションを開催し、オンライン・オンサイト合わせて約100名の方が参加しました。

【開催日】2021年12月10日(金)
【会　場】Thailand Knowledge Park(TK Park)Fl. 8 Central World

「ACBS(ASIA CONTENT BUSINESS SUMMIT)」香港フィルマート

「香港フィルマート」のオンラインイベントとして「A New Era of Asia Co-production」をテーマに開催。第1部は、Welcome Remarks、第2部は、Co-Production Policy and Case Introductionとし、日本、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、サウジアラビア、香港等の国・地域の登壇者から国際共同製作における事例などをお話しいただきました。日本からは、『海辺の彼女たち』のプロデューサーである渡邉一孝氏とVIPO事務局次長・槙田寿文が登壇し、日本の助成金制度についての紹介などを行いました。

【開催日】2022年3月15日(火)
【会　場】オンライン開催

コ・フェスタ(JAPAN国際コンテンツフェスティバル2021)

国内外の日本コンテンツに関わる多種多様なイベントを連携させ、海外へ効果的に情報発信するためのプロジェクトです。日本コンテンツに関わるイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションのあり方を検討し、国内外に向けて情報発信することで、日本コンテンツの市場拡大につなげることを目的としています。コロナ禍の影響により、昨年に引き続き、多くのイベントがオンラインにて開催されました。※認定イベント:36(本年度の中止企画7件)

CoFesta 2021

Japan Content Catalog（JACC®）

自主事業

Japan Content Catalog（略称：JACC®）は、❶映画、❷テレビ番組、❸アニメ&キャラクター、❹音楽、❺ゲーム、❻脚本、❼ロケ地情報、❽クリエイター、❾書籍などの各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の9つで、2022年4月1日現在、収載コンテンツ総数は約120,000件（日本語・英語）です。一部は中国語（簡体字）にも対応しており、その収載コンテンツ総数は約7,000件です。

一括検索機能

JACC®サーチ
運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構、
株式会社角川アスキー総合研究所
http://japancontentcatalog.jp

❶映画

日本映画データベース（略称:JFDB）
運営：公益財団法人ユニジャパン
https://jfdb.jp

❷テレビ番組

Japan Program Catalog
運営：一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構
https://www.japan-programcatalog.com/

❸アニメ＆キャラクター

Anime Chara DB
運営：一般社団法人日本動画協会
http://animecharadb.jp

❹音楽

SYNC MUSIC JAPAN DATABASE
運営：一般社団法人融合研究所
https://syncmusic-artists.jp

❺ゲーム

FOYER GAME for JACC
運営：株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
https://jcc-game.foyer-online.com

❻脚本

脚本データベース
運営：一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム
http://db.nkac.or.jp

❼ロケ地情報

全国ロケーションデータベース（略称:JL-DB）
運営：文化庁
https://www.jldb.bunka.go.jp

❽クリエイター

Japan Creator Bank
運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構
https://japancreatorbank.com/

❾書籍

Japan Book Bank
運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構、一般社団法人日本書籍出版協会
https://japanbookbank.com/

※登録商標"JACC"は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。

国際マッチングサイト「Japan Creator Bank」

自主事業

https://japancreatorbank.com/

Japan Creator Bankは、日本のエンターテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイターを検索できるウェブサイトです。本サイトには、海外での仕事に強い興味と意欲を持っている日本のクリエイターが登録されています。Japan Creator Bankには、検索機能だけではなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談・依頼等を行うことが可能です。日本のクリエイターと一緒に仕事をすることをお考えの方々にとっては大変便利な検索サイトです。
Japan Creator Bankでは、以下の日本のクリエイターを日本語／英語／中国語で検索することが可能です。

脚本家

映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の脚本家を紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・映画やドラマ等の脚本制作
（海外制作、国際共同製作を含む）
・イベント等への出演・登壇等

監督

映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の監督を紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・映画やドラマ等の映像制作
（海外制作、国際共同製作を含む）
・イベント等への出演・登壇等

俳優

映画やドラマ等で活躍している日本の俳優を紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・映画やドラマ・TV番組等への出演、
オーディションへの参加等
・イベント等への出演・登壇等

声優

アニメやゲーム等で活躍している日本の声優を紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・アニメやゲームへの声の出演、
海外言語の吹き替え等
・イベント等への出演・登壇等

作曲家

アニソン業界を中心に活躍している日本の作曲家を紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・海外コンテンツへの楽曲提供
・イベント等への出演・登壇等

映画プロデューサー

映画で活躍し、実績のある日本のプロデューサーを紹介しています。

問い合わせ可能な内容
・映画等のプロデュース
（海外制作、国際共同製作を含む）
・イベント等への出演・登壇等

企画書の閲覧も可能

映像化を希望するオリジナル企画が日本語と英語で登録されており、ユーザーは会員登録なしで企画書の簡易版の閲覧が可能です。日本シナリオ作家協会や日本放送作家協会の協力により、現在、ドラマや映画などで活躍する現役脚本家の企画書60本以上が登録されています。

https://japancreatorbank.com/ja/proposal/

海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」

自主事業

「Japan Book Bank」は、日本の出版コンテンツの翻訳出版に興味を持つ海外の出版社や、映像化を希望する映像制作会社やプロデューサー向けに構築した日本の出版コンテンツを検索できるウェブサイトです。日本の書籍・出版コンテンツと海外の出版コンテンツ関連企業等をマッチングさせ、日本の出版コンテンツの海外展開を促進することを目的としています。

Japan Book Bank

https://japanbookbank.com/

「Japan Book Bank」でできること

●オンラインカタログとして出版コンテンツの検索がいつでも可能

幅広いジャンルでの日本の出版コンテンツを日本語／英語で検索することができます。

・文芸　・文庫/新書　・実用書
・コミック　・児童書/絵本　・ビジネス書 他

●言語別版権許諾情報を掲載

商談前に本サイトを利用することで、効率の良い商談が可能となります。 ※版権情報は、ID登録者のみ公開されます。

●指定した窓口にて問い合わせを受信

メールアドレスを開示せずに海外からの問い合わせを受けることができます。 ※ID登録者のみ問い合わせが可能となります。

●「映像化の原作」としてアピール

トップページの特集等を活用し、映像化の原作として海外の出版社、映像制作会社やプロデューサーに効果的に発信することが可能です。

*「Japan Book Bank」は、映画、テレビ番組、アニメ、キャラクター、音楽、ゲーム、脚本、ロケ地情報、クリエイターなどのデータベース一括検索システム「Japan Content Catalog」(japancontentcatalog.jp、通称：JACC®)と連携しています。

コロナ禍の中、海外向けに"成果の出る出版BtoBサイト"として急成長中 国内の登録出版社数は100社以上

2021年3月18日のサイトオープン以来、登録出版社数は110社を超え、掲載書籍数も2,500冊以上と順調に成長を続けています。380名以上ものユーザーがIDを登録。年間問い合わせも200件を超え、サイトを通した成約も30件以上生まれています。

● ID登録者実績

登録業種

1位 出版社 ……59.2%
2位 代理店 ……11.4%
3位 映像制作会社…3.8%
4位 翻訳会社 ……2.2%

その他、フリー翻訳者・編集者・業界団体・電子書店等

国別登録者数 ※全51か国

- アメリカ：39人(10.3%)
- ドイツ：30人(7.9%)
- イタリア：29人(7.7%)
- フランス：29人(7.7%)
- スペイン：23人(6.0%)
- 韓国：19人
- 中国：17人
- 台湾：10人
- タイ：10人
- トルコ：7人
- イギリス：7人
- ブラジル：6人
- ロシア：6人
- エジプト：6人
- スイス：5人
- ベトナム：5人
- カナダ：4人
- インドネシア：4人
- アラブ首長国連邦：4人
- ベルギー：3人
- ウクライナ：3人
- インド：3人
- セルビア：3人
- オランダ：3人

<各2人>
オーストラリア、ポルトガル、シリア、イスラエル、ブルガリア、カザフスタン、フィリピン

<各1人>
フィンランド、スロバキア、スウェーデン、アジア、オーストリア、ガーナ、ギリシャ、ハンガリー、コソボ、レバノン、リトアニア、ミャンマー、ネパール、ナイジェリア、ウズベキスタン、アイスランド、アルゼンチン、シンガポール、ポーランド、イラン

※登録商標"JACC"は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。

積極的な海外プロモーションを実施

「ボローニャ・ブックフェア」や「フランクフルト・ブックフェア」といった国際的なブックフェアに合わせ、各公式サイトでのバナー展開やGoogle広告の出稿を行いました。さらに、英語圏での出版業界情報サイト「Publisher's Weekly」(米)および「The BookSeller」(英)への出稿を通じて、「Japan Book Bank」への誘導を推進。また、「フランクフルト・ブックフェア」では、JAPANブースと連動した「Japan Book Bank」ブースを出展し、チラシやノベルティの配布を通じて来場者へ直接アプローチをしました。

「Japan Book Bank」英語版チラシ

「Japan Book Bank」バナー広告

フランクフルト・ブックフェア「Japan Book Bank」ブース

第2回オンライン説明会を開催

2022年3月24日(木)には、「Japan Book Bank」にすでにご登録いただいている国内出版社、および出版物の登録をご検討中の国内出版社等を対象に第2回オンライン説明会を開催。サイトをオープンしてから約1年間にわたるアクセス状況やID登録者情報、サイトを通じた成約数、海外でのプロモーション実施内容等をご説明しました。当日は86社100名の方にご参加いただき、後日限定公開した本セミナーのアーカイブ配信は70名以上の方にご覧いただきました。

VIPO Integrated Support System（VISS）

自主事業

VIPO Integrated Support System(略称：VISS)は、日本のコンテンツ事業者の海外展開をサポートするためのリスト類です。現在のVISSは、以下の8つのリストで構成されています。

❶バイヤーズリスト、❷海外イベントリスト、❸ローカライズ事業者リスト、❹商品化エージェントリスト、❺発信事業者リスト、❻国別共同製作支援制度情報、❼国別表現規制情報、❽中国コンテンツ関連契約書雛形集

海外展開に課題を抱えている会社・個人をサポートするためにVISSの情報を活用しています。

JAPACON

自主事業

下記のサイト等を中心に情報発信を行いました。
JAPACON SNSページ(https://www.facebook.com/japancontent/)

JAPACONは下記に掲げる3項目を目的に活動しています。
1. 海外へのコンテンツ流通の促進　2. クールジャパン情報の海外発信　3. 全国の良質なコンテンツの海外への発信

全国ロケーションデータベースの利用促進のための調査研究

文化庁　委託事業

JL-DB JAPAN LOCATION DATABASE
全国ロケーションデータベース

本事業では、全国各地のフィルムコミッションが持つロケーション情報を一括検索できるシステム「全国ロケーションデータベース（JL-DB）」の充実化を軸に、そのデータベースを活用した映像作品の日本各地域への誘致や、国内外作品のロケーションに関わるさまざまな支援を行う地域のフィルムコミッションの体制強化等を目的としています。VIPOとジャパン・フィルムコミッション（JFC）*がコンソーシアムを形成し、共同で事業の実施／運営を行いました。　*ジャパン・フィルムコミッション（JFC）：国内120以上のフィルムコミッション（FC）のネットワーク組織であり、世界およびアジアのFCネットワークの会員でもある。

＜主要事業内容＞

JL-DBシステム機能追加のための調査・実装、およびシステム運用保守・利用分析に関する業務

「全国ロケーションデータベース（JL-DB）」システムの機能追加を通じてJL-DBの利用促進を行うべく、現行システムの機能を見直し、必要な機能や項目に関する調査を実施。各地のフィルムコミッション（FC）が少ない手間でも情報更新ができるよう、FCが独自に持つロケ地データベースとJL-DBのロケ地データを連携する、自動連携機能の搭載をしました。また、映像制作者が時間や場所に関わらず軽快にJL-DBを使用でき、ロケ地データとその関連のリサーチを効率的に実施できるよう、必要な機能や項目を洗い出した結果、スマートフォンアプリの設計、開発を行い、運用を開始しました。

JL-DB登録データ充実のための調査等に関する業務

「全国ロケーションデータベース（JL-DB）」のコンテンツ（登録データ）について、地域のフィルムコミッション（FC）が持つ国内ロケ地や関連情報のさらなる充実化を図るとともに、他データベースとの連携促進、国内での海外作品製作の支援実績や問題点等の調査を実施。JL-DBが、国内のロケ撮影に関する一元的窓口サイトとして、より活用しやすい魅力的なデータベースとなることを目標としました。

スマートフォンアプリ画面

JL-DBを通した海外に向けた効果的な情報発信に関する調査

世界からの日本への関心がますます高まっている好状況を活かし、JL-DBがロケ地を探す海外映像制作者にとってより便利なツールとなるよう、海外からのアクセスの最適化、アクセス向上の調査と調査結果を反映させ、作業を実施。また、国内のロケ受入れ体制強化のため、海外映像制作者を招いたセミナーの開催や、「全国ロケ地フェア」での新JL-DBのPRのほか、利用促進につなげる調査等を幅広く行いました。

各フィルムコミッション（FC）への支援強化

全国のロケ地情報を持ち、JL-DBのコンテンツ充実化に大きな役割を担う各地域のフィルムコミッション（FC）の業務は、実際の国内外のロケ撮影の対応等により極めて多忙です。広範囲においてフィルムコミッション活動やロケ撮影支援をフォローするスタッフを、エリアマネージャーという位置づけで試験的に配置し各地域のフィルムコミッションの支援強化を行いました。

＜関連イベント情報＞

◆「JFC全国ロケ地フェア2022」開催

開催日　2022年1月17日（月）　　**会場**　東京都　時事通信ホール

「全国ロケーションデータベース（JL-DB）」のメインコンテンツの一つ“ロケ地情報”にフォーカスし、業界関係者だけでなく、一般層へも向けたイベントを開催しました。新JL-DBシステムの認知を拡げるべく、会場内には専用ブースを設置し、JL-DBのPRも実施しました。

◆海外映像制作者の話が直接聞ける!「海外制作者セミナー」

開催日　2022年1月18日（火）　　**会場**　AP東京八重洲

海外からゲスト・スピーカー2名（うち1名はアメリカ在住の邦人スピーカー）を迎え、これまでに携わったハリウッドやフランスの作品に関連したロケーション、各地域のフィルムコミッション（FC）との関わり、そして、コロナ禍での映像制作業界を取り巻く世界的な状況等について、豊富な知識と経験を基に語っていただきました。

大型映像作品ロケーション誘致の効果検証調査

内閣府　委託事業

＜事業内容＞

本事業では、外国の大型映像作品のロケ誘致の実例を創出し、地域経済の振興等にどの程度の費用対効果があるか、今後、日本が継続的に外国映像作品のロケ誘致を進める上でどのような課題があるか、定量的、定性的な分析を行うための実証調査を行いました。

今年度は、内閣府知的財産戦略推進事務局からの委託事業において、アメリカの大型映像作品を採択し準備を進めましたが、12月の新規入国禁止の政策によりキャスト・スタッフの渡航が不可能となり、ロケが中止となりました。その経緯を今後の参考とするべく、調査報告を取りまとめました。また、今後のロケ誘致のプロモーションの素材となる、日本のロケ地をアピールする動画を内外のクリエイターに制作していただきました。

また、海外映画・ドラマロケの誘致インセンティブ導入を契機にした映像産業の改革方向性を可視化し、今後の政策議論に必要な材料を提示し、映像産業の構造改革の方向性を立案支援する調査と提案を取りまとめ、近い将来の日本でのインセンティブ制度の導入に向けて有益となることを目指しました。そのために海外の製作者に対して日本におけるロケーション誘致の認知度を高める為、どのような要素が求められているか、北米の業界紙『Variety』のSNSを使ってのプロモーション展開とアンケート調査を遂行しました。

SNSで展開したビジュアル

外国映像作品ロケーション誘致に係る経済効果フォローアップ検証調査

本調査は、以前実施された「地域経済の振興等に資する外国映像作品ロケーション誘致に関する実証調査」で支援した海外映像2作品『唐人街探偵 東京MISSION』、『G.I.ジョー：漆黒のスネークアイズ』が誘致・助成され、ロケ活動による経済効果が検証されたことを踏まえ、今後映像作品が配給・放映・配信されることに伴い、地方自治体などと連携し、映像作品の誘致・助成による観光・地域経済振興への効果を新たに検証しました。具体的には、関連する地方自治体などを通じ、ロケ実施地域における経済や雇用への波及効果を始めとした変化を調査し、ロケ地のその後の活動状況など、ロケ実施地域における2次的な経済効果を地方自治体や観光施設の協力の下で効果測定を実施しました。

©WANDA MEDIA CO.,LTD.
AS ONE PICTURES(BEIJING)CO.,LTD.
CHINA FILM CO.,LTD "DETECTIVE CHINATOWN3"

アーカイブ

アーカイブ 中核拠点形成モデル事業（撮影所等における映画関連の非フィルム資料）

文化庁　委託事業

歴史的、文化的価値のある日本の貴重な文化関係資料（撮影所等における映画関連の非フィルム資料*）が散逸・消失することのないようアーカイブの構築に向けた資料の保存および活用を図るため、当該分野のネットワーク化を推進し、分野全体のアーカイブ運営や共同利用の促進等を目的としています。

*非フィルム資料：脚本、ポスター、スチル等のフィルム以外の映画関係資料

ネットワーク化の推進

▶ 昨年度に続き、映画資料所蔵館、IPホルダー、研究者などさまざまな映画資料関係者が参加する「全国映画資料アーカイブサミット2022」を開催（オンライン）。今年度は、現在の映画資料の作り手の方々の発表も加わり幅広い内容を展開しました。また、その他に、検討委員会での意見交換や、資料所蔵施設での調査等を通じて、映画資料関係者の連携を推進しました。

現地調査研究

▶ 調査範囲を昨年度の関東から中国・九州地区に拡大し、木暮実千代顕彰館、田中絹代ぶんか館（以上、山口県）、松永文庫（福岡県）における映画資料の所在調査を行いました。また昨年度に続き、調布地区を対象に、調布市立中央図書館、高津装飾美術、東映ラボ・テック、東京現像所の調査を行いました。

所在地情報検索システムの拡張

▶ 昨年度ベータ版を限定公開した「映画資料所在地情報検索システム（JFROL）」において、従来の東映太秦映画村（京都）と松竹大谷図書館（東京）のデータベースに加え、新たに、川喜多記念映画文化財団のオンラインデータベースを連携させ、連携資料館の横断検索システムを拡大させる実証実験を行いました。

＜イベント開催＞

「全国映画資料アーカイブサミット2022」

時世の問題を織り交ぜながら、映画資料の保存・活用のための基礎知識をテーマに、映画資料の理解を深めることを目的に開催。

【日　時】2022年1月20日（木）10:30～17:45　【場　所】ライブ配信（主会場VIPO会議室R）　【参加者】226名　【参加費】無料

【プログラム】
文化庁の挨拶
❶報告「データベース／デジタルアーカイブの構築と活用―映画資料所在地情報検索システム（JFROL）の事例を元に―」
　報告者：1.事務局／国書刊行会 川上 貴氏／2.公益財団法人川喜多記念映画文化財団 映画資料担当
　3.東映株式会社 経営戦略部フェロー 山口記弘氏
❷セミナー「映画資料をどう見せる?～リアル展示とオンライン展示」
　講師：1.静岡文化芸術大学図書館・情報センター 土屋麻子氏／2.国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏
　3.株式会社アイ・ティー・ワン 顧問 野久尾智明氏
❸セミナー「映画資料のNFT化・デジタル活用と著作権処理」
　講師：骨董通り法律事務所 弁護士（日本・ニューヨーク州） 福井健策氏
❹シンポジウム「映画資料の収集・保存・活用 全国的な連携からできること」
　モデレーター：国立映画アーカイブ 主任研究員 岡田秀則氏／パネリスト：東映株式会社 経営戦略部 堀口政浩氏／崑プロ 若林和子氏
　鎌倉市川喜多映画記念館 馬場祐輔氏／映画研究者 伊藤弘了氏
❺発表「映画資料にまつわる最前線の活動発表」
　発表者：1.映画パンフは宇宙だ!（PATU） 今井悠也氏／2.のむみち氏（「名画座かんぺ」発行人）／3.本宮映画劇場 田村優子氏
　4.シネ・ヌーヴォ 支配人 山崎紀子氏／5.岡田成生氏（イラストレーター）／6.山本アマネ氏（イラストレーター）

「調布地区にて発見された映画資料でみる映画のスタッフワーク」（展示）

【日　時】2022年2月26日（土）～3月6日（日）
【場　所】調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー
【参加費】無料
【内　容】令和2、3年度事業における調布地区の調査結果を元にした映画資料の展示／デジタルアーカイブの活用実践としてのデジタル展示

「映画資料特別展」（展示）

【日　時】2022年3月2日（水）～3月31日（木）
【場　所】東映太秦映画村映画文化館2階
【参加費】無料
（※東映太秦映画村の入村料が別途必要）
【内　容】令和元年度事業における東映太秦映画村の調査結果を元にした映画資料の展示

人材育成

京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2021

京都市　委託事業

京都から世界に「マンガ」、「アニメ」を発信する西日本最大級のマンガ・アニメのイベント

京都市、および京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）実行委員会から「マンガ家を含むクリエイター志望者支援業務」を受託し、その一環として「京都国際マンガ・アニメ大賞2021」の事務局運営等を実施しました。本賞は、世界のマンガ家を含むクリエイター志望者が京都を通じてプロデビューをするための機会創出を目的としています。

京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）

2012年より続くマンガ・アニメ関連の総合見本市。2021年は9月18日（土）、19日（日）に開催され、VIPOが運営に携わる京まふ関連イベント「マンガ道場」と「マンガ出張編集部」は、新型コロナ感染症対策を考慮し、10月9日（土）、10日（日）、11月13日（土）、14日（日）と4回に分けて実施しました。

「京都国際マンガ・アニメ大賞 2021」 世界97の地域／国からエントリー

マンガ部門：1,081作品、イラスト部門：1,378作品、CGアニメコンテスト：173作品。
応募総数：歴代最高となる2,632作品。
授賞式：10月8日（金）（京都市役所本庁舎　第一応接室）
新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は大賞、各優秀賞・準優秀賞、審査員特別賞の受賞者のうち日本在住の4名に京都の会場までお越しいただき、海外在住の受賞者からはメッセージをお送りいただく形での開催となりました。

2021年度は授賞形態を変え、全応募作品から選ばれる特別賞1作品、マンガ、イラスト、CGアニメの3部門それぞれに優秀賞、準優秀賞1作品、そして各コンテストの優秀賞作品から選ばれる京都国際マンガ・アニメ大賞1作品を選定。大賞、優秀賞、特別賞の受賞者は右記の方々。

京都国際マンガ・アニメ大賞
伊藤瑞希氏［京都在住］
マンガコンテスト優秀賞
貳號氏［台湾在住］
イラストコンテスト優秀賞
Charmaine Lee氏［マレーシア在住］
CGアニメコンテスト優秀賞
伊藤瑞希氏［京都在住］
特別賞
このは。氏［大阪在住］

大賞作品
『高野交差点』作者：伊藤瑞希氏

市場開拓

東京都 コンテンツ活用事業

東京都　委託事業

VIPOは、東京都令和3年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を拡げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー&コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」をオンラインにて開催しました。

開催日　2021年12月8日（水）、9日（木）
参加者　102名（内、コンテンツ企業36社、異業種34社）
- コンテンツ企業：映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等
- 異業種企業：製造、医療・福祉、教育、商店街、小売等分野

「マッチング交流会」の開催

各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、オンライン商談室を用意。約180件のコンテンツ企業×異業種企業のマッチングを実施しました。

「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

コンテンツ企業と異業種企業のコラボレーションに必要なノウハウや成功事例に関するセミナーを実施しました。

1 開催日　2021年12月8日（水）10:30～11:10
テーマ　『ゲーミフィケーションって何?～異業種でも活用できる"楽しいから続けられる"のヒント～』

2 開催日　2021年12月8日（水）11:30～12:10
テーマ　『Makuakeを活用した、低リスクのオリジナル商品開発について』

3 開催日　2021年12月9日（木）10:30～11:10
テーマ　『サンリオだから引き出せた!企業の魅力：事例5』